京城日報

十三日夕刊

定價　本紙一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢
京城太平通一丁目　發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介　發行所　合資會社　京城日報社

特別時間表

第卅九回特別帝國議會

貴族院（十二日）

十二日午前十時開議、諸般の報告ありて日程に入り請願委員長細川護立侯登壇

『本議會にて貴族院の受領せる請願は百六十六件二百二十六通其人員一萬五千八百三十三人中院議に附すべしと決定せしもの六十件院議に附するを要せざるもの三十八件審査未了五十四件なり』

と報告し

借入鐵道及び輕便鐵道買收に關する法律案

後藤鐵道院總裁の說明ありて委員附託

大正四年度豫備金支出の件
同上特別會計豫備金支出の件
同上大正三年度臨時事件豫備費支出の件

以上承諾を求むる件は三案一括して勝田藏相の說明あり委員附託

裁判所の設立に關する法律案
大正二年法律第九號中改正法律案

は委員長吉井幸藏伯の報告通り原案可決確定

北海道拓殖鐵道建設費利子支出に關する法律案

委員長清棲家敎伯の報告通り可決確定

輕便鐵道補助中改正法律案

委員長野村益三子の報告通り可決確定

大正五年法律第四號中改正法律案

委員長徳川圀順侯より報告通り可決確定

朝鮮事業法中改正法律案

委員長徳川圀順侯より報告通り原案可決確定す夫より松岡康毅氏の動議に依り日程を變更し

製鐵業獎勵法案に移り委員長松岡康毅氏より本案は一旦修正せしも時局に對する機宜の處置として政府案を認め復活可決せし旨を述べ阪谷男の質問に對し仲小路農相の答辯あり採決の結果確定す次いで

朝鮮鐵道用品資金關係法廢止法律案

は委員長古市光威氏より

臨時國庫證券法案
臨時國庫證券收入金特別會計法案

は委員長柳原義光伯より報告通り何れも原案可決確定、斯くて大部分讀會省略の儘可決確定し正午散會せり

衆議院（十二日）

十二日午後一時二十分開會、大岡議長は劈頭總員起立の裡に會期延長の詔書を朗讀し後石黑涵一郎氏等提出の外交調査會設置に關する質問書以下十通の質問或は再質問書に對して政府よりの答辯書を朗讀せしめ諸般の報告ありて會議を開き高松正道氏（國民）議事進行に關して發言を求め

『政府は議員の質問に對して答辯書を提出し就中文部大臣の言責に關する質問の如き最も重大なる質問に對してすら文書を以て答辯せり然かも彼は貴族院にては平身低頭陳謝せるにあらずや是本院を蔑視せるものにして斯の如き政府の國務大臣に對しては彈劾を辭するものにあらず』

と憲政會側の喝采を浴びて降壇す（東京特電）

紛糾せる支那政局

▲愈北京總攻擊

曹錕軍の突入＝各所の戰鬪

十二日午前三時頃張勳討伐のため殺到せる段軍部下曹錕の率ふる步兵約五千騎兵約二千砲兵若干（其の砲門數は不明）は彰義門より入城せんとして張勳軍との間に戰鬪開始され午前四時頃天壇方面にて稍激烈なる步兵戰あり次で砲兵戰に移れり南池子なる張勳邸附近にても亦小銃戰開始せらる

▲十二日午前北京城内に於ける段張兩軍の市街戰刻々激烈となり各國公使館區域に流彈飛來せる爲め日、英、伊、米人の負傷者數名を出せり（北京電報）

▲段張兩軍衝突の結果張軍利あらずして退却し張勳は和蘭公使館に逃れて保護を求めたれば戰鬪は十二日午後四時頃稍々下火となれり（北京電報）

▲張勳は北京駐剳和蘭公使館内に逃入せりとの說あり（北京電報）

▲段軍北京總攻擊を開始し銃彈各國公使館區域内に飛來するもの多く爲めに日本人一名負傷せり（北京電報）

▲十二日の段張兩軍の戰鬪中英人三名、伊太利人一名及び米國兵一名流彈の爲め負傷せり（北京電報）

▲張勳公使館に遁逃す

公使館區域内に飛彈＝負傷者を出す

十二日段、張兩軍の間に戰鬪起り彈丸公使館區域内に飛び來り負傷者を出せり張勳は遂に和蘭公使館に遁竄し一時激烈なりし戰鬪も午後四時頃には下火となれり（北京特電）

▲天壇據守の張軍降伏

天壇に據守せる張勳軍は竟に段軍に降伏せり（北京電報）

▲張勳討伐軍の首腦

段祺瑞氏を首腦とする張勳討伐軍は東西兩路軍に編成し東路軍は段芝貴氏、西路軍は曹錕氏之れを率ゐ居れり幕僚左の如し

總司令官　段祺瑞　　聘任參贊　梁啓超
聘任參贊　湯化龍　　委任參贊　徐樹錚
委任參贊　李長泰　　總參議　靳雲鵬
參謀長　傅良佐　　秘書長　張志潭
軍需處長　曾毓雋　　交涉處長　劉崇傑
交通處長　葉恭綽　　軍法處長　丁志源
軍醫處長　方擎　　副官長　陶雲鵬

其他に顧問數名あり（北京發十三日午前九時某所著電）

▲在住邦人に避難を命ず

十二日日本公使館は南池子附近在住日本人に避難を命ぜり（北京特電）

▲京津間電線不通

十二日北京總攻擊の際北京天津間の電線不通となり天津の松平總領事は段祺瑞氏に對し抗議を申込み我工兵十六名は其修理に赴きたるが午後四時一線のみ開通せり（北京特電）

◎張勳家族保護

十二日北京發來電に依れば同日張勳の參謀長なる萬繩栻は我が齋藤少將の許に到り張勳の家族を保護せられん事を懇請せるに依り公使と協議の上之を容るゝ事となせりと（某所着）

◎京大卒業式

十三日京都帝國大學にて卒業式擧行さる久邇宮殿下には天皇陛下御名代として同式に御臺臨遊ばされたり（京都特電）

◎久原鑛業增資

久原鑛業は二十七日總會を開き年三割五分配當を決定し千萬圓を七千萬圓に增資の件を附議すべし（東京特電）

◎南滿製糖總會

南滿洲製糖會社は關東都督府より本年上半期の補助金十萬圓を受領し來る廿六日東京にて第一回總會を開き年六朱の配當をなす筈なり（東京特電）

◎藤波通譯官著釜

朝鮮總督府通譯官藤波義貫氏は總督に隨行上京中の處十二日夜入港連絡船對馬丸にて歸鮮同十一時發列車にて京城に歸任せり（釜山特電）

◎ハリス博士

神學博士ハリス氏は十三日午後七時著列車にて來釜直ちに連絡船新羅丸に乘船同八時三十分出港東上せり（釜山特電）

◎長官會議休會

十三日は定例長官會議日なりしも署中及び政務の都合にて休會せり

◉辭令（十三日附）

朝鮮總督府技師　山岸勝造
同　二宮常八
京畿道に出張を命す

◉鐵道監督局の分課

滿鐵鐵道併合後總督官房に鐵道監督局を新設し鐵道經營事務の監督調査に任ずる事は屢報の如きが右監督局には監理技術調査の三課若くは監理技術の二課を置くべく局長には鮮鐵某理事課長は鮮鐵高等官中より之れを任命すべしと

◉朝鮮大阪貿易

七月上旬に於ける大阪朝鮮貿易は輸移出七十五萬六千圓輸移入百六十二萬圓にして結局八十六萬四千圓の出超を示したるが一月以降の累計は輸移出に於て二千九百九十一萬六千圓輸移入三千四百四十六萬圓にて差引四百五十四萬四千圓の出超を告げたり但し上半の金銀貿易は四千百四十七萬圓の出超を示し居れり

◉豐永博士歸京

中央試驗所長豐永眞里博士は內地出張中なりし十二日午後九時南大門驛著列車にて歸京せり

◉藤波通譯官歸任

東上中なりし藤波通譯官は十三日午前八時五十分南大門著列車にて歸任せり

◉花原視察團動靜

入京中の東京府荏原郡敎育視察團二十六名は十三日仁川を視察し即日京城に引返し午後七時五十分發列車にて南下釜山十四日東萊温泉に遊で同地より歸途に就くべしと

◉警察署長會議

京畿道警務部にては十三日午後一時府内各警察署長を召集し恒例會議を開催したり

◉京漢京綏兩鐵道の連絡停止

日支連絡加入鐵道なる京漢京綏兩鐵道に對しては京奉鐵道の旅客の取扱を停止したる旨十二日鐵道局に入電ありたり

◉百卅銀行增配

百三十銀行にては來る二十八日大阪本府に株主總會を開く由なるが當期の配當は年九分とし前期に比し一分の增配となる由

◉水原春繭販賣

京畿道水原春繭共同販賣は豫定の如く十二日水原郡に開催せるが販賣品は特等（一石當）特等九十四圓二十錢一等九十圓九十錢二等八十七圓八十錢三等八十三圓五十九錢四等八十一圓五十一錢等外六十八圓五十錢右賣上平均價格一石八十二圓三十三錢を算し全部入札の結果小口組東畿組合等に落札せりと因に本年度春繭共同販賣は漣川郡及び抱川郡の取引を以つて全部の終結を見る筈

◉洪城春繭共同販賣

七月十日洪城に於て執行したる春繭販賣は洪城、瑞山の兩郡並に靑陽郡の一部にして入札者八名道より大池技手立會午後八時終了せり出場繭石數洪城百四十石、瑞山百五石、靑陽十六石にして單價高格なるも特等八十五圓五錢、一等八十三圓九十錢、二等七十八圓七十錢、三等七十一圓八十錢、四等六十六圓、等外三十五圓二十八錢、玉繭二十八圓九十錢、屑繭二十八圓六十錢にして洪城平均單價七十六圓十一錢一厘、此總額一萬六百五十二圓、瑞山平均七十二圓十七錢三厘、此總額七千五百八十六圓、靑陽平均六十三圓四十錢三厘、此總額千四十三圓、三郡合計二百六十一石、價格計一萬九千二百八十三圓に達したり

◉金剛山より

愛峰生

當地は去る七月二日金剛公立尋常小學校の開校式之有候假校舍にて授業を開始せられ居り候へ共學生徒は小數にて約三十名許りなるも漸次增加の望みにて本年中に四五十名にも達する由に御座候該小學校は假校舍の故を以て一學級小學校丈けに候得共當局の熱心なる盡力により諸般の設備は殆完全に行届き在住民は將來を期待し居り候、組合員も學校の大と同じく急速の土地で種々の困難なる事情の伏在せるも不拘兵く熱勵し居れ共如何せん在住民少數の爲維持費の出處要ならず目下三井鑛山會社より毎月多額の出費を仰ぎ居り候、新校舍の建築に就ては模範單級小學校とし且つ本道の夏季講習所に充つる筈、理想的の建築たるべく從がつて莫大の建設費を要するを以て當路者は三井鑛山會社に約千五百圓の寄附を仰ぐべく手續中なるが會社側にては之を快諾の模様にて所在地住民は會社の盡力を大に感謝し無限に會社の發展を祈り居り候（七月四日）

人事消息

▲友角仲誠氏（警務總監部高等課長）十二日夜滿洲へ
▲露國人男女四十四名視察團　十三日過滿洲へ
▲京城露國副領事　十三日朝滿洲へ
▲限元憲兵大尉　十三日義州より入京憲兵隊へ

湖南より

五道踏破旅行記者　李光洙

◇全北の平野には、今や飢餓に瀕せる者多く草根木皮によりて縷の如き命を繫ぐ者さへ尠からず其窮狀慘狀思ひやられ候はずや。細川農場にては小作人獎勵の方法として、年々賞旗を與へ、或は種子の無料配付なし居り候。昨年の大凶に依り今年の移秧時には籾四百六十石を散じて一箇月半の糧食を與へ秋穫に無利息にて還納せしむることゝ致候由、朝鮮地主の範とすべきもの一二にて足らず候。かゝる慘狀を來したる所以は土地瘠せたるが故にあらず、全北の平野は朝鮮第一の沃土なり。人民懶惰なるにあらず、一望際なき平野は彼等の手によりて耕されたり。肥沃なる土地に住める勸勉なる人民の、斯くも悲慘なる境遇に陷れるは、抑々如何なる故に候哉。

◇一二有力者の語る所によれば、草根木皮は決して誇張の譬に非ずして、實地に調査したる所讀んで字の如く、草根木皮を食すとのことに候。大人は滋養不良にて顏色蒼白となり乳呑子は母乳を得ずして、骨と皮のみにやつれ果泣くことすら得せぬ不幸の者も尠からざる由にて候。恰も移秧季にして、農家に取りては實に一刻千金の時なるに、此の慘狀を見るに同情一掬の淚なき能はず候。

◇朝鮮の地主は、移秧終了後にあらざれば小作人に糧食を貸與せず、移秧後其の收穫を抵當として、始めて糧食を貸與する由。而も小作人の窮地に陷れるに乘じて不法の高利を附し、僅々二三箇月に五割の利息を附する者も往々有之やに候。即ち夏一石の籾を貸與せば、秋には一石半の籾を取る譯にて、斯くて可憐なる小作人は、收穫の即座に無一物となり、年々歲々貧窮の度を增し行くのみにて候。

◇去年は水害にて例になき凶作なりし其も一因には相違なかるべきも、小作人の貧窮は專ら地主の橫暴、云換ふれば社會制度の不完全に依れる事も亦た一原因をなし居る事と存候。彼等可憐なる小作人を救濟するには低利にて農資を借得べき機關を備ふる事は當面の一大急務と存候。

◇地方金融組合なる者あれども、此は中農以上の利用すべき者にして、小作人は直接其の恩惠に浴すること能はず。全州の農事組合こそは、此の目的に最も適する施設と存候。地主等の出資によりて相當の資本を作り極めて低利にて、小作人に農資を貸付くる仕組なるが、斯くすれば一面小作人等を、不法の高利より救出すのみならず、一面彼等に勤儉と信用とを獎勵する事となるべく、實に一擧兩得と申すべきにて候。されども朝鮮人の地主が、自治的に斯かる施設をなすは前途遼遠なりと申すべく、當局にて半強制的に實行せしむれば、數年以内に完全に實現すべくと存候。

◇水利の整理、種子の選擇、耕作方法の改良等によりて、出來得る限りの增收を圖り、あらゆる副業を獎勵して、出來得る限り農家の收入の增加を圖るも、今日の制度のまゝにては只地主の腹を肥やすのみにて、決して根本的に小作人を救濟するとは不可能なるべしと存候。殊に種々なる事情の下に、中農階級漸次消滅し土地の兼併盛に行はれて、全羅南北の如き農業地には大地主と小作人との兩階級を存するのみに至るの如き傾向日に顯著なれば、小作人救濟は、實に焦眉の急と申して可なるべくと存候。

◇敎育も衣食あつて後のこと、貯蓄をするにも貯蓄すべきものなければ如何ともすること能はず、一人の地主に數百人、數千人の小作人あり産米の石數のみにて、又は輸出の金額の統計のみにて、輙ちに人民の富を卜すること能はざるべし。富の增加と共に分配其の宜しきを得るは、經濟の原則なりと聞及候。殊に今日の朝鮮の、かゝる狀態に於ては、分配の適宜は最も急要なることゝ存候

◇飢餓に泣く同胞を見るに付け、同情の熱淚禁ずること能はず、幼稚なる意見斯くの如く候。經世家諸彥の注意せらるゝこととならば幸甚なり匆々不一（七月七日裡里にて）

◎獨逸瓦解せん

戰爭近く終結か

獨逸國內の政治的形勢は極めて重大にして革命起る可しと觀測さる獨逸は近く瓦解し戰爭は冬期に入る前に終結す可しと傳へらる（紐育電報）

◎獨逸皇帝の御前會議

形勢極めて重大なり

獨逸皇帝は普魯西內閣員並に獨逸帝國內閣員全部を網羅せる御前會議を開きたるが右は開戰後始めての事にして形勢重大なるを思はしむ（倫敦電報）

◎英飛行機君府襲擊

英國飛行隊は土耳古の首都君斯坦丁堡を襲擊し同港碇泊中の敵艦隊に爆彈を投下し大火災を起さしめたり（倫敦電報）

◎英國船舶擊沈數

六月中英國船舶の獨逸潜航艇に擊沈せられたるものは一千六百噸以上のもの九十九隻一千六百噸以下のもの二十九隻漁船廿二隻に達し又本年二月十九日以降の累計を擧ぐれば千六百噸以上三百三十八隻千六百噸以下のもの百五十三隻漁船百八十二隻なり（倫敦發某所著電）

◎露軍バリッ占領

露都公報に依れば露軍はガリシヤに侵入しハリッツを占領せり（路透來電）

島の巡査生活(六)

陽氣なことも陽氣だが又苦しい話 ◇◇◇郵便所長一家の悲劇 其時は僕も泣かされた◇◇◇

智島は以前の郡廳所在地である、大正三年府郡廢合の結果務安郡に併合せられたが今でも多少の内地人は居る、恐らく珍島を除いたらこの島などは指折の第一に位するものであらう、處が此位の島にすらお醫者も居らねば産婆も居らぬ、これは駐在巡査とは直接の關係はないが或る時、そこの郵便所長の息子が病氣に罹つた

◆それ醫者よ藥よと **大騷をした**

何かで姑息な治療を施して居る中段々病勢が募つて來た、兩親は大いに憂いて木浦に連れて行かうとしたがもうその時は動かすことも出來ぬ程の重病で明日をも知れぬといふ危い處である、それでも何か『ひよつとしたら』といふ一縷の望を抱いて手を代へ品を替へ看護に努めたが『運命の力』は如何ともすべからず、儚みにならぬ續みの綱はプツリと斷れて終に

◆息子は其夜の暁方 と共に息を引取つ **折柄の引潮**

たのである、灰色の悲愁と慟哭の聲―就中も腹を痛めた母親の歎きは何うであらう、實に傍の見る目も痛ましい程であつたが軈てその中に野邊の送りをする時が來た、葬式萬端の用意を整へる一方、駐在所に出頭して埋葬認可書の下附を乞ふと誠に御愁傷に堪へぬが醫師の診斷書がなくては之をお渡しする譯には行かないといふ、郵便所長は聊と當惑したが誠に尤もなことではあり又之がなくては埋葬が出來ぬので暇の間にも思案を

◆定ると直ぐいく **愛兒の遺骸**

なきくと毛布に搦み恰かも生きた子供でも抱くやうに確りと抱いて、艀路遙な木浦に出て來た、そして診斷書を手に入れると又その遺骸を抱いて悄然と島に歸つたといふ――これは同島駐在の某君の話しで『私もその時は泣かされましたよ……』と述懐して居たが實際何んといふ痛ましい悲劇であらう、島にはこんな悲劇はザラにある

◎横著な傳道員

江華郡三山面席毛里耶蘇教傳道員金麗澤(三六)は京城竹添町三丁目米人宣教師バンカー氏より江華島に傳道校舍敷地買入金百十圓を預りたる儘之を横領し此の外仁川牛角里宣教師へス孃より同樣金五十圓預りて其内二十圓を其他張錫祚外五名より水田買入金として合計一千七百八十五圓を預りたるまゝ其全部を横領し此の金にて娼妓を落籍せしめ或は金縁眼鏡及び金側懷中時計を購ふ等身分不相應の贅澤に身を窶しゐたるを本町署の刑事に探知せられ引致取調べの上十三日檢事局送り

◎漂浪の旅 故郷に別れて

◇◇◇飢餓に追はれて滿洲に流れ込む山東の土民◇◇◇

一家を擧げて=山東方面の大凶作=草木の芽を喰ふ=背に腹は代へられず=可憐の少女=さながら地獄の餓鬼=哀れな話

青島や龍口や芝罘方面から大連へ船が入港する毎に、山東の土民が夥しく上陸する、色の蒼ざめたヒヨロヒヨロした元氣の無いのが、團んだ

◆眼を光らして右顧左眄する狀は昔の繪草紙で見る地獄

の餓鬼にも等しい是等土民の數は非常なもので、幾百組の家族が相集りて大連驛で北行の汽車を待つ間の雜沓と喧騷とは譬へやうもない。何れも家財道具を一纏めにして後生大切と抱へてゐる。何故彼等は住み馴れた故郷を捨てゝ、一家を擧げて漂浪の旅に出るのか、而も

◆彼等は故郷に別るゝ哀別の涙など微塵もなく的も無き

旅路に樂しみを追つてゐるのである昨年以來山東方面は大凶作の爲へ、搗て加へて本年は春から少しも降雨なく近年稀有な大旱魃なので、到底農耕する事も出來ず、我家大切と村に囓りついて居れば居る程、飢餓は遠慮會釋なく迫り來て、果は生命を捨てるより外はない。

◆されば傳來の田畑や家屋を二束三文に叩き賣り、それを

辛うじて旅費として滿洲に移住するのである山東方面の大飢饉は今更説くも可笑しいが到底想像も及ばぬ位である。撫順に行くと云ふ苦力に就いて聞いて見ると鈍感な彼にも山東にゐた當時の辛さ苦しさが思ひ出されて悲しかつたのか、眼を瞬きながら語るには、彼等の故郷―濟南から百支里も方の地方は、殆んど草木の葉と云ふ葉が無いさうだ

◆それは彼等は草木の芽の柔いのを爭つて食するからで

今年になつてから、粟や高粱すら一粒も咽喉を通した事の無いものが多く彼等は飢餓に迫られた揚句は密かに山東鐵道沿線に出て胡麻の葉を食べて露命を繋いでゐたものも尠くない、食物を追ふて行く程に疲勞と困憊とに我を忘れて路傍に倒れると夢は唯もう

◆故郷の立上る翠煙や高粱畑

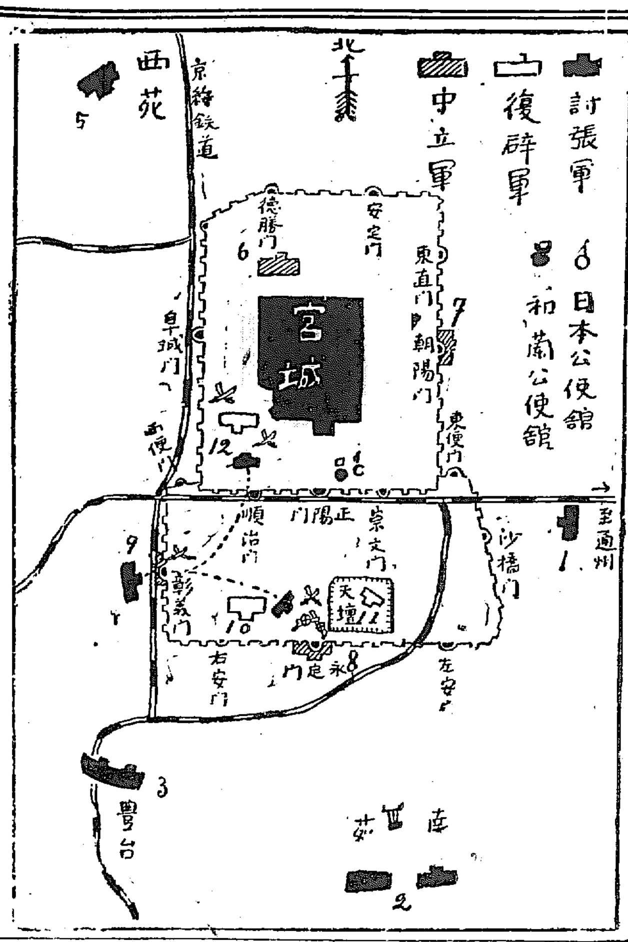
ばかりでそれを爭つて果は喧嘩して擲られたと見れば眼が醒めると云ふ事が屢々ある子供のある者は背に腹は代へられず涙ながらに人買の手に渡して仕舞ふ、現に相應な家の愛娘で、近所界隈評判の美人であつた、孫某の如きは僅々十五元で賣られ、娼婦になり其他二元三元で賣られて行くのもあつて

◆是等可憐の少女は他の包み切れぬ涙を隱し

何夜仇し男に身を任せてゐるのださうな。小崗子に居住の支那人の話にも、斯うした哀れな女が昨今多數小崗子に流れ込んでゐるとの事である飢饉が齎む惨話は敢て是許りではあるまい(大連)

□兩軍對峙の狀況(十二日戰鬪開始迄)

(1)は通州近畿第一旅團(2)第十一師(張承成)第十二師(陳光遠)(3)段芝貴の卒ゆる主力にて馬廠第八師全部、郎坊第十六混成旅、山東新軍一旅(4)曹錕の卒ゆる第三、第廿師の各一旅(5)第十三師(李進才)(6)第一師(蔡成勳)(7)(8)(9)歩軍(江朝宗)禁衛軍(王廷禎)(10)先農壇(11)天壇(12)南池子の張勳邸彰義門よりの点線は十二日午前曹錕軍の突入せし進路を示し特別符號は兩軍の戰鬪地なり



◇水鐵砲 ―休み中の幼稚園で―

露國の女軍決死隊 去る六日花々しく戰地に出征

長春發電に依れば露都にて若き婦人が大部分を占めし奇拔なる第一女軍決死隊編成せられ去る六日花々しく戰地に出征せり(大阪特電)

◎脫走兵の判決

野砲兵第二十四聯隊の脫走兵首魁は禁錮一年其他は禁錮四月乃至八月に處する旨申渡ありたり(大阪特電)

◇「マクベス」を觀る 眞面目な寫眞 印象的な場面

◎評判の文藝寫眞沙翁劇『マクベス』は十二日から有樂館に公開されたが、觸込みが大きいだけあつて從來京城で青年會やその他の各館並びに早川演藝部の手に依つて公開された種々の文藝寫眞の内では藝術的の意味から最も傑出したものであると言へる

◎その現はれた畫面には殊更に大仕掛の場面を見やうとしたり活劇を見せようとするやうな所が全然無いために地味ではあるが、寫眞には全く無駄が省かれてゐる、そして各場面々々が飽くまで印象的に出來てゐる、然かも文藝寫眞に有勝な宗教染みた所が無いのがよい

◎唯茲に言つておきたい事は此の寫眞によつて一見膽を冷すやうな箇人間の離れ業を見ようとしたり、大厦の一時に崩れ落つるやうな壯快な畫面を見ようとする人は必らず失望するであらう

◎寫眞は原作の作意によつて忠實に造られたもので、之れを一貫して見れば脚本を通讀するのと些の變りないのを覺ゆる、それからマクベスに扮するツリーもマクベス夫人の役を勤めるコリアー夫人も流石に一流の俳優だけに立派な藝を見せる、日本物や冒險活劇の探偵物を見馴れた人達には大なる驚異を與へる寫眞である事を證明する(八△△)

◎早稻田野球團

早稻田野球團一行は十三日朝長春に來著し午後より試合を開始する筈なるが見物人頗る盛なり(長春特電)

◎女子師範旅行團

東京女子高等師範學校矢部吉禎氏外職員男女三名生徒十五名は十三日朝さくら丸にて來釜釜山高等女學校を參觀し市内見學の上同日午後十一時發列車にて京城へ向ふ(釜山特電)

◇若草町曹洞宗別院にては十三十四、十五日は毎夜午後八時半より盂蘭盆施餓鬼法要を執行す

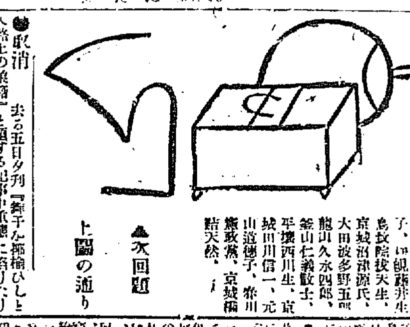
讀者文藝(一等に五十錢 二等輪列を呈す)

△旅めね

○螢籠と團扇(一等) 龍山 乡美郞

▲京城テー、エフ生、同中野鈴子、仁川銀菲非生 島牧陰枝天生、京城沼津源氏、大田波多野五郎、龍山久永四郎、釜山仁義歡士、平壤西川生、京城田川信一、元山道穂子、龍川無致篤、京城福結天然、

▲次回題 上圖の通り



◎取消 去る五日夕刊『舞子を揶揄ひしと路上の狼藉』と題する記事中重態に陷りたりと記せし前川大尉より『拙者は少しも該事件に關係無く全然誤報にして迷惑一方ならず不名譽の極みに候拙者が關知せざる事は憲兵隊警察署等にて證明する所に候故正誤せられ度し』との申込に就き該前川大尉に關する部分を取消す

●工業學校長の變死

青森縣立工業學校長松原常吉氏は泉川に投死せりとの報あり(大阪特電)

同町一丁目百八十九番地水田正雄(二三)は十三日疑似赤痢に罹り何れも順化院へ收容せらる衛前記の赤痢新[illegible]似赤痢にて十二日順化院へ送らる

◎腸窒扶斯 蓬萊町二丁目百十三番地佐藤たい(二三)は腸窒扶斯に罹り十[illegible]

レーア 二百八十六名 露國人園館四十七名、米國人エル、ボアース 同ビー、アツカード、醫生井、同[illegible]

十二日午後九時四十五分釜山入港 馬丸一二等客 [illegible]

懸賞課題及募集規定

[illegible]

商況

東京債券現物特電

十三日引來着 東京拓殖 八三、八〇 東京電氣 五六、五〇 朝鮮銀行 ― 朝鮮瓦斯 一八、九〇 南滿鐵道 一四三、五〇

東京公債直取引(特電)

十三日引來値 五分利特別 九五、五〇 五分利甲號 ― 四分利 ― 四分利 ― 甲號五分 九五、四〇

深川在米特電

十三日現在高 朝鮮米 一六三、七三 朝鮮米 一二八、〇一二 内地米 一六七、八七四

東京期米特電

十三日前場 八月限 寄付 二四、六四 高値 二四、六四 安値 二四、五〇 引け 二四、五〇

大阪株式

銘柄	拂込	十二日前場	後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	―
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	―
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	―
合同紡績	[illegible]	[illegible]	―
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	―
同上新株	[illegible]	[illegible]	―
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	―
大阪商船	[illegible]	[illegible]	―
日本郵船	[illegible]	[illegible]	―
同上新株	[illegible]	[illegible]	―
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	―
東京新株	[illegible]	[illegible]	―
大阪株式	[illegible]	[illegible]	―

大阪三品特電

十三日前場 七月限 三五八〇〇 八月限 三五六〇〇 九月限 三四八二〇 十月限 三四七五〇 十一月限 三四二九〇 十二月限 三四一〇〇

大阪期米特電

十三日前場 寄付 二三、二八 中限寄付 二三、六六 先限寄付 二四、四六

下關期米特電

十三日前場 晴 押目買も頗る氣[illegible]

雜報

◎綿糸更に新値

[illegible]

圓といふ記録破り當限の三百八十 稍々下押模樣 金力の大なる仕手の勢力 更に如何なる暴威 米棉採算過行

[illegible]

▲前場暴落す

[illegible]

二圓方の暴落 一擧二十 綿布も小安 糸は又六圓落

[illegible]

◎生糸は漸騰 千四百五十圓

[illegible]

◎仲買店

仁川米豆取引所仲買人 主任 西川平治郎 電話一九八番 長一五九番 自宅 電話 七二一〇番

入電 月初め千二百圓臺

[illegible]

◎夏冬の仕入服

[illegible]

平均一割強の値高 舶來品輸入乏

[illegible]

◎鉱力板引返す 五圓方跳返し 値八十九圓

[illegible]

◎牛脂猶漸落 六圓 阪地相場二十

[illegible]

京城正米 更に十錢方引

[illegible]

京城雜穀 綿引 双方睨合

[illegible]

▲前場零落す

[illegible]

▲南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物(十三日)

[illegible]

生魚市場

[illegible]

釜山水產市場(十二日)

[illegible]

仁川期米 ▲十三日前場(暴落す)

[illegible]

大阪天候晴 昨止より二十九錢安の入電 二十圓四十八錢 十五錢安に寄付 更に二十一錢と暴落

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川海岸町三丁目 電話長三三六八番

市場零聞

俄然暴落す 放れ目先の投げを招致 大阪の大下 案外な暴落を演

[illegible]

出反動瓦落

[illegible]

▲期近は强硬

[illegible]

▲正米情勢 釜山筋の買物に又復 二三十錢高

[illegible]

▲天井か否乎 然の成行下押は寧ろ當

[illegible]

▲⑤の優勢買

[illegible]

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電三〇九番九二

仁川米豆取引所 十二日の九月限

前場 平均値段

	付	寄	高値	安値	止め
一節	二十二圓十八	二十二圓十五	二十二圓四十一	二十二圓十	二十六圓[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

賣買取組高

限月	取組高	前日比較
七月限	八千三百石	二〇安
八月限	一萬五千九百石	一八〇安
九月限	二萬四千百石	一八〇安
十二日後場	二〇〇〇	四〇

小賣白米

現金買 一等白米 二十三錢五厘 二十一錢

白米標準値

二十二圓八十錢

天氣

十二日午後 西の風 晴時々曇り 七月十四日 [illegible]

◎赤痢續々發生

京城黄金町二丁目六十九番地印判師青木要太郎(五三)は十日赤痢病に罹り……鍾路小學校に通學し居るより同校にては庄次郎に一週間停學を命じたり次に櫻下洞四十二統李文永(二)は疑……二日死亡したり

◎連絡船上陸客

十二日午前八時三十分釜山入港新羅丸一二等客 一等(三名)永田眞里、能村千翔、米國人クランク 三等(三百十三名)……孝次郎、原種吉、村上孤松、二宮梯、江草利雄、山崎貞太郎、森田正見、同ゆきゑ、渡邊久吉、岩永ふさ……三等(七十四名)……錦子、同千鶴子

●北鮮に咲く珍らしい草花
内地にも滅多に無い高山植物

北鮮地方には概して内地でも餘程深山に入らなければ見られない高山植物が到る處の山野に爛妍として咲き亂れて居る

□殊に白頭山 にでも登れば中腹から山頂に渉つて種々な珍奇な植物が繁茂して居て夏期の頃などは頗る美觀を呈して居るキンボウゲ科のチヨノスケ草や桔梗色のオダマキなどがある普通内地で見るオダマキは紺色で花も小さいが白頭山のは花も小さくない其外タカネリンドウ、シヤクヤナギ、タカネツヽジなど、呼ぶ小さい躑躅なども咲いて居る

□豆滿江沿岸 には野生の千島罌粟と云ふ小さい罌粟が谿間に美しく咲いて居る香水を採る花としては五月中旬から下旬に開く鈴蘭など餘り遠方に行かなくつてもあるから婦人や小供の採取には至極適當だが此頃ではハマナスと云ふ薔薇の種類が六月から七月の中旬頃迄羅南鏡城間の山道や河原に鵜色の可憐らしい花を開いて居る

□百合科では 朝鮮車百合高麗姫百合等が到る處にある敦盛草、小敦盛草、小杜若、金杜若などと云ふ小さい形の杜若も内地では珍らしい、紅色の奇麗な花を開く石竹科のエビセンノウも、少し山奥に行けば見ることが出來る野生薑の如きも内地は勿論南鮮でも一寸見當らない珍の樣な藥をしたのも珍らしくない野生の芍藥も内地では手近に得難いが此邊では白色、鵜色共に朱乙へ行く道などに澤山咲いて居る又

□茂山嶺附近 には野生の江戸菊がある是れも一寸珍らしいフウロ草などは葡萄の花の如く紫色の花弁が五つに切れて蕊が長く出て居る笹類も此邊では餘り見當らないが先達て明川郡で發見したので高麗笹と命名された白頭山植物の如きも何分氣候が異るので發育が完全に行かない樣である(茂津)

東萊海雲臺探凉會

◆盛夏凉を趁ふの情切なる時◇恰も好し七月廿九日(日曜日)◆三十日(大祭日)と二日續きの安息日◇此機會を利用京仁人士一團となり◆兩社主催を以て温泉場と海水浴場◇東萊、海雲臺の二勝地訪問探凉團を組織實行する事になりました◆往途は七月二十八日南大門驛發◇歸途は三十日釜山驛發の共に夜行列車を撰定◆二日一夜の間悠々仙境に俗腸を洗ふ事が出來るのです◇計畫、規定の詳細は逐次發表◆偏へに續々御入會の程を希望して置きます

主催　京城日報社　毎日申報社

◎子供に詰襟服は惡い

衣服の改良といふ事は實務上からも衛生上からも又所謂審美と趣味の上からも數次叫ばるる聲でございますが要するに保温防寒を第一義として

◆人身に快適 なものが衣服として上乘のものでございます其點に就て支那服などは殆んど理想に近いやうに思はれますが倚幾分の缺點を免れませんそれは兎に角大人は其趣味なり生活の狀態に應じて自分の好む服裝を擇ぶ自由がございますが父母なり兄姉なり

◆長上の保護 によつて生存して行く子供は往々無意識ながら自分の健康なり生活狀態に相應せぬ衣服に包まれて不知不識の間に不自然な生活をして居るのは子供の爲に氣の毒なことでございます殊に子供服の先決問題は少年學生の制服でございます一般に

◆當今の學生 は陸軍式に則つた詰襟の制服を著て以下の幼弱な生徒にして背嚢形の鞄まで背負はされてゐるものさへございますが此の詰襟服といふものが如何ばかり少年の發育を害するでせう試みに詰襟で隠れてゐる頸部は大抵膚理に細かくて

◆柔かく弱々 しうございます、之は主として直接日光に觸れない爲と頸一杯の窮屈な仕立方の襟で咽喉部を壓し呼吸機の作用を妨げる結果自ら頸部の發達を妨げ見るから弱々しく細げて見ゑるやうになるのでございます然れば

◆幼少の學生 にはなるべく寛濶な仕立の服を著せて頸部は勿論全身の發育を自由ならしめる工夫が肝要でございます西洋の兒童は男女を問はず十四五歳までは頸部に窮屈なカラーなどを用ひない極く寛濶なジヤケツトに類した服裝を著けさせ脚部は半洋袴を穿ち下腿部の

◆發達を妨げ ない工夫がついてあります日本人と西洋人とは習慣も生活の狀態乃至容貌、體軀にも異る所がありますから、一概に歐米の兒童風俗を其まゝ適用するとは滑稽な模倣で感心しませんが彼の長所を應用して別種の少年服を造りて窮屈な詰襟風に代へ一般兒童の御服とする工夫がありたいものです、差し詰め

◆海軍水兵形 のヂヤケツトならば頸部も寛ろぎ身體も窮屈でなく發達盛りの兒童には適切でございます夏期に於いて特に詰襟服の窮屈なのに較べて如何ばかりか兒童の身體は快適かと思はれます

◆暴風雨の起る原因
……暴風警報利用の必要に就て……

仁川測候所長　平田徳太郎氏談

朝鮮及び内地は入梅後から二百二十日前後迄は時々大低氣壓が起つて數日前の樣な暴風雨に見舞れる事が多いから時節柄暴風雨の起る原因と暴風警報の利用に就いて説明して見たいと思ふ

▲低氣壓とは何か 氣壓…大小不等の原因 空氣の流れ＝渦巻……

近頃新聞などに低氣壓と言ふ語が常に掲載されて誰れも雨が降るとすぐ低氣壓が襲來したとか、上官の小言が出るとソラ低氣壓が來たなど、言ふが此れを委しく説明すると係うである地球を包む空氣には其の層の高さに相應する

◆壓力◆ がある、之れを氣壓と言ふが、氣壓が空氣が寒冷な時は密度が濃厚になるから大となり温暖な時は水分や種々の者を含むから自然壓力が小くなる、斯樣に氣壓に大小不等が生ずれば、恰も高い處から低い所に水が流れる樣に重い氣壓は輕い方に流れて、空氣の流即ち風を起す、此の風が抑も低氣壓を起す原因となる者で、水の如く流れて來て居る處に水が何かの邪魔物に

◆衝突◆ すると河流中に渦を起す樣に空氣も又渦を作る此場合空氣の渦も水と同樣渦の中心は周圍よりも氣壓が低くなるのであるが此を稱して低氣壓と呼ぶのであつて氣壓と雖も必ずしも低氣壓の起つた部分全體に雨を降らす者でもなければ

◆上官◆ の小言の如く恐い者でもない事を承知して居らねばならぬのである、笑談は措き前述の如く空氣が四方から流れ込む風の方向は眞直に中心に吹き込まないで北半球では右い逃れるから低氣壓の東側では南乃至西東の風となり

◆北側◆ では東乃至北風西側では北乃至西、南側では西乃至南風となるのである、假令ば十一日の暴風雨の如き、西方支那方面から襲來した低氣壓が仁川地方に差かゝると南風が強く吹き南風が漸次弱くなるに從つて低氣壓は通過して天候

◆恢復◆ するに至つたゞから多少なりとも天候觀測に經驗のある者は十一日の暴風雨の如き場合には南風の強い裡は低氣壓の中心が未だ仁川附近を過ぎて了はないから天候は恢復しまいと想像して一時平穩に歸しても決して安心しないのである(畧く――仁川)

◎鮮女の轢死

十二日午前二時半頃大邱七星町刀水園裏手の鐵道線路にて轢死せる一鮮人あり此の届け出に接したる大邱警察署より警官警察醫現場に急行し檢視したるが死者は住所氏名不詳年齡三十歳前後の乞食體の女にして脚骨及び顔面半を轢かれゐたるが附近の人々に就て取調べたる結果同女は十一日夜鐵道線路の側に寢ねたりしといへば多分寢返へりして軀が線路内に入りしを轢かれたるものなるべしと

◎曉烏敏師來る

眞宗大谷派本願寺の碩徳にして雜誌『精神界』の主筆曉烏敏師は十二日夜入港連絡船對馬丸にて來鮮十三日より三日間釜山東本願寺別院に於て講演を爲す筈(釜山特電)

◎各學校の水泳練習

京城中學校及び各小學校にては例年の如く龍山西氷庫に水泳場を設け生徒に水泳の練習をなさしむべし

支那の怪談

―沈石は本家

百濟王國亡滅當時の記錄を見ると錦江の水が紅くなつたり魚が木登りをしたり、怪獸が王城の前で悲鳴をあげたりしたとあるが、近頃の支那新聞を見ると之に類した天變地妖が續出してゐるのを見受ける

◆血の池と變ず 貴州省の肘陽湖では俄かに水の色が赤ると血の如くなつて其の赤い水を飲んだ牛が死くなつたさうである、併し水底に何かの變化があるとか乃至其湖水に注ぐ川上に何かの變化があつて赤色の泥水に變じたと見れば別に不思議はないことである

◆天に二箇の日輪 雲南省では太陽が二つ現れたとある、之は恐らく蜃氣樓の作用で濕度の高い大氣中に氣層が出來て、其氣層へ光線が屈折して太陽が反射したものであらう、昨年も現に仁川で月が二つ現はれたことがある

◆蛙と鼠の行列 貴州省では蛙の群れが隊伍を組んで入城し揚州の或所では鼠の群れが尾を啣へて河を渡つたさうである。是は百濟亡國史式であるから一寸判斷に苦むが、日本でも能くある鼠の合戰だとか、蛙合戰だとかの事を思へば左程不思議なことも無からう

◆奇魚と怪物 長沙の南湖寺で捕れた奇魚は長さ七尺、口濶く盆の如き鱗があつて岸に上げられて鳴いた聲が牛の如であつた又た武昌の河に丑滿つ頃身長七八丈もある黒い怪物が頭は軋々といつて鳴いたとある、之は怪物を拜見しないから判らないが、察するに『ばけもの』の正體見たり枯尾花と思へば間違ひなからう

渚の砂

◎京龍仁弓術大會 十五日日曜日午前より京城永樂町一丁目永樂倶樂部に於て京城、龍山、仁川等の弓術家相會し競技會を開催する事となりたり當日は會員以外の弓術家の飛入競技自由にして希望者は本町二丁目の渡邊水哉氏方に會費五十錢相添へ申込むべしと

■盲人の手紙 來る十五日より既報の如く盲人用點字の手紙は無封に限り十匁迄金二錢となり是迄葉書一枚で用の濟む事が多額の郵税を徴收されゐたる譯なれば便利至大也

■車内圖書館 東清鐵道にては露暦七月二十五日(我國と十四日違ひ)より同線往復列車内に圖書室を設け閲覽又は購讀せしむと但し其の書籍は民黨に關する事項記述の書面

■今水戸義公 上院議長徳川家達公東京細民部落を研究せんとて熱心なる同趣味の人に恩給を與へ研究せしむと西山公の助三郎格之進流に[illegible]も亦一興

■大島の凶歉 鹿兒島縣大島は昨年來の旱魃と猶習にて名物の甘藷取れず食料缺乏して玄米相場一升三十何錢に上り住民の窮厄其極に達し信用販賣組合にては應急策攻究中

■古武器發見 間島附近鞍馬山にて上古矢鏃石斧を發見すと同地より北鮮一帯は靺鞨族の一時勢威を振ひし地史に[illegible]研究せば面白し

■鰯と新發明 山口縣技手山本增三郎氏は鰯の乾燥器を發明せしが從來雨天にては鰯の乾燥不能なりしも此器を使用せば晴雨とも乾燥に差支なく一回十七百枚を乾燥し得べし

北洋商船株式會社株式賣出

北洋ニ忘レラレタル巨利

本年三月北洋汽船、能越汽船、樋爪商會ノ三社ヲ打ツテ一丸トシ壹百萬圓ノ新會社ヲ起セル者之ヲ北洋商船株式會社トナス同社近海航路ハ北海道樺太各地ト本州中部以西トノ貨物輸送ノ大動脈ニシテ殊ニ新潟縣下各地ノ開發ニ資スル事大ナルヲ以テ大正三年以來同縣ヨリ航路補助金年貳千圓ヲ下附セラレタリ、又其沿海航路ハ能登半島各港ノ貨客交通ノ唯一機關トシ海上ノ縣道ナリト稱セラル兩者孰レモ鐵道院著線ノ各驛ト相互間ニ連帶輸送ノ便ヲ開ケルハ當今汽船會社中稀ニ見ル所ニシテ此一事ヲ以テ見ルモ又同社事業ノ有望且確實ナルヲ知ルベキナリ

◎同社ノ設立事情

合併セシ舊三社大株主ハ皆其人ヲ同シクセル爲新會社役員モ三社重役中ヨリ選任シ北陸財界知名ノ士ヲ網羅セリ

取締役社長樋爪讓太郎、專務取締役飯田金次郎、取締役島山小兵衛、堀岡萬吉、芳野廣太郎、監査役樋爪謙二郎、谷村常三、和倉久四郎 相談役 新田與一、岩城雄平

サレバ買收價格協定ニ際シテモ新會社ノ利ヲ重ジ半額以下ニテ讓受クル[illegible]

◎同社ノ現財産ヲ觀ヨ

[illegible]

◎同社株式前途ト利廻リ

[illegible]

賣出要項

一會社資本金　壹百萬圓(貳萬株)
一賣出株數　參千株(壹株金拾五圓拂込濟)
一賣出價格　壹株ニ付金四十二圓五十錢均一
一申込證據金　壹株ニ付金拾圓
一申込株數單位　十株以上
一申込期間　七月十二日ゟ廿一日迄
但遠隔地ノ申込ハ郵便局ノ消印記載ノ日附ヲ以テ申込日附ト看做ス
一株式引渡方法　申込先着順ニヨリ市外ハ荷爲替ニテ送付シ市内ハ賣出人ノ營業所若クハ買受人ノ住所ニ於テ爲スベキモノトス

公債株式現物問屋　大阪市東區今橋二丁目　樋口捨吉商店　電話本局(一八六二番・一五七八番)(市場連接)一五二九番・一五七九番　受信略號(オサカヒグチ)一五八〇番

公債株式現物問屋　東京市日本橋區阪本町　高田悦三商店　電話浪花特長　四三番・八〇三番　八六番・八六〇番　電信略號(タ)又ハ(タカタ)

取扱所

門司市仲町七丁目　河野株式店
長崎市麹屋町　高塲文平
下關市西南部町　小山八藏
松山市三番町　東口鶴吉
名古屋市南伊勢町一　山村純一
鳥取市片原町　河野信太郎
廣島市西本川町　岡村七右衛門
京都市室町御池南　清水清次郎
津市中之番町　岡野勘兵衛
和歌山市丸之内十二番丁　柳村才助
若狹小濱町　小濱株友會倶樂部
岐阜市神田町　中川孝造

シッカロール　アセボタダレ最新藥

夏季の御家庭には必ずシッカロールをお備へ遊ばされアセボタダレの苦痛を免がれ湯上りのスガ〳〵しき御氣分を御味ひ可被遊候御試用に御勸め申上候

東京神田　和光堂　大阪横堀

質　堀佐營業所　京城黄金町二丁目入(永樂町停留所北)　電話六三九番

鐵砲は 横濱の金丸銃砲店に限る (店主 西村潤藏)

▲季節物廣告▼

赤玉ポートワイン(一打以上景品付)
味の素(一箱以上景品付)
味の素麵(進物用化粧箱入)
白玉粉(内地手製特撰品)
娘印酢の素(一箱以上景品付)
グリンピース鑵詰　新製特撰品

右例年の通り特に勉強差上可申候間多少に不拘御注文仰付被下度奉願上候

京城南大門市塲(振替三八番)　辻本商店　電話長六四七一五　味の素朝鮮代理店

仁川　白神洋行　京城

鐵材　鋼板、平板　針金、洋釘　新田帶革總代理店

ペイント、油類一切、コータス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他

購買　龍山陸軍倉庫　玄米　精米　詳細ハ七月十四日以降新聞廣告欄ニアリ

此夏は惡い病にかゝらぬ樣必ずカオールを口中せられよ　衛生口錠

惡氣を豫防し疲勞を回復す　カオール

湯治、海水浴、登山、旅行、芝居、活動等其他人込中最も必要

◎ヒスイ色まが玉形　廿五錢　◎自働バネ付鉋形　廿五錢　◎美術銃付彈入形　廿八錢　◎袋入十錢箱入廿錢五十錢一圓

オリヂナル本舗　東京水天宮前　安藤井筒堂　關西代理店大阪　藤森源之助

豫報

[illegible]

明君道中記

第二百五席 田邊南龍口演

板倉喜兵衛は案内に從つて長七郎の御目通りへ罷出「喜『手前は板倉周防守の家臣板倉喜兵衛と申する者にございまするが、周防儀御出迎ひをもいたすべきでありまするが手前を以て御案内仕りますれば、是より城内へ御參楽を願はしう存じ奉る』長『其故先刻役人共へ申し付け内蔵に申したのであるが立腹つて周防に申し入れたものと見ゆる、二條城内へ足を入れては相濟ぬ譯であるお周防の心入りと申し又其方が言葉と云ひ、其の意に從つて參るといたさう』と長七郎喜兵衛と同道いたしまして二條城内へお出になる、周防守は玄關式臺まで御出迎ひ申し上げ周『久々にて拜顔を遂げ周防恐悦に存じまする』長『長七郎は無禄の浪人所司代邸へ參つたとあつては上へ對して憚る處ではあるが其方の厚意を無にいたすこともならず心ならずも參つた譯である』周『存せぬこととは申しながら打捨置きました段は周防より御詫をいたします、何は兎もあれ暫く當城内にお止りを願ひまする』直に奥へ案内に及び周防を始め板倉の家來一統御目通りも濟んで其の夜は山海の珍味を整へ饗應致し、叮重に待遇ます故長七郎は然に御逗留に相成る、此の所司代板倉周防守は當代の人物、役向に私が無いといふので板倉の治政と云つた位で、此のお方の御政談も幾許もございますが、茲に一ツの裁判があつて何うしても周防守の者へが付きませんから其の裁判の落着をつけることが出來ない、此の事を聞いて長七郎其の裁判を予に任せろと役飾つて長七郎が周防守に代つて取調べましたが、是を白鳥の政談と申します、此の事をお話しいたしますが、伊豫國宇多郡大洲六萬石加藤遠江守の城下から三里在須戒村百姓治兵衛と申す者がございますが、夫婦の仲に總七といふ十一になる倅がございます至て柔順い子で或日若者方表へ遊びに出る村の小兒が七八人集つて遊で居りましたが向ふに大きな柿の木があつて實が澤山生て居る、下枝は取つてしまつて大概ありませんが上の方には眞赤に熟したのがある、それ故小兒達は何うかして此を取らうと思ひ石を投げ又は棒を持て騷いで居ると、名主徳右衛門の倅徳之助十二になるが其處へ飛んで來て、俺が柿を取つて遣らうと惡戯者の事で其の柿の木に上つて手を伸して柿を取らうとしたが届きません、何うかして取りたいものと一生懸命になつて居る處へ參りましたのが前の八兵衛といふ者 八『ヤア是は坊ちやん危うございます、其樣高い處へ上つて落ちたら大變だ』徳『オー八兵衛か、お前の持て居る其の鉈を貸しておくれ』八『鉈を何うなさいますので』徳『其の鉈で柿の枝を切て柿を取るのだ』八『そんな事をしては危いからお廢しなさい』強て貸せと云ふ名主の子ではあるし貸さなかつたら惡からうと思つて其の鉈を貸すと、徳之助は鉈を持つて再たび柿の木に上り力に任せて枝をポン〳〵と叩いて居たが却々切れません、ポンと叩く機みに手が滑れて其の鉈を取り落した、機みで其の鉈は上からスーツと落ちて參りましたが、あゝ危いと云ふ間もなく下に立つて居りました總七の頭の上へ落ちたかと思ふと何ぞ堪らん頭を割つたキヤツと云つて其場に仆れる、八兵衛は驚き八『是は大變なことをした』惣七さん確りしなくツちやア叶けない』と抱き起して見ると何にしろ頭へ深く鉈が入つたのですから堪りません惣七は即死をした、是を見ると他の子供は驚いて逃げて行つた然し是は此儘では平穏に納まりさうもない

牛乳 御用 衛生的新鮮 病院御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科 芙蓉醫院 京城本町三丁目 瓦斯會社向側 電話二六二三番

七月十五日 日 舊五月廿七日 戊午 本命九紫 南 建 先勝

▲九紫 恩を敬て穏を守るの日 新事見合 神佛の事は吉 ▲一白 割のわるき事有り 新事手控 新取引は用心の事 ▲二黒 大儲有り 轉居入學求職名弘 新建築婚約定め取引皆吉 ▲三碧 轉居開業等若き女子は望外の立身を爲す 有望の日也 ▲四緑 古き疑な散じて新たに福音を得る日 萬進んで利あり 待人來る ▲五黄 散害の日 轉居入學金談求職旅行 女を定る等萬吉 ▲六白 厄介な持込み來る日 新事手控 保證調印等せぬがよし ▲七赤 勞して効なき事有り 新事手控 爲替に注意せらるべし ▲八白 愉快有り 轉居入學名弘求職金談縁組入合資等吉

かつけ 神藥

脚氣患者無代送與

有名なる常陸國笠間稲荷を中心とし只一本中に無類唯一の脚氣奇藥あり只だ一服にても直ぐ驚く程効顯著る従來難治の脚氣患者さへも救はれ全治せし人多しハガキで照會あれば人助けの爲め療法書を無代で郵送す

東京市本所區緑町公園内 笠間稲荷頒藥出張所

演藝案内

有樂館 早川演藝部 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番

十二日より四日間公開日延なし 英國大文豪沙翁晩年の大著作 世界的名優ハーバート、ツリー卿の演じたる傑作 ▲世界一の文藝史劇『マクベス』全九巻 活動之世界曰く『名優出演の活動寫眞劇で最も成功したものはツリー卿の『マクベス』であらう』

壽館 京城壽町 電話一〇三番

二代目桃中軒雲右衛門一行 六日目の讀物 ▲義烈白石 ▲開東 ▲御三家三勇士 ▲孝子迷の印籠

大正館 櫻井町 電話八七三

七月九日より特別興行 ▼京城日報讀者は特に割引仕候

浪花館 明治町 電話二六〇

浪界明星 京山若丸 原晴夢合同 ▲寛永勇士揃 ▲柳生旅日記 ▲動功記 ▲屋敷 ▲雪の曙 ▲東の花

黄金館 電話二六三七 六五二

▲銭屋五兵衛 ▲西活劇『黒胡蝶の女』 ▲泰西喜劇『飛行家羽根子』

稲荷座 本町五丁目

竹川馬生一行再演 ▲寶入船 ▲櫻川五郎蔵 ▲玄海の浮雲 ▲關取千兩幟 ▲虎光功記

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は 神癒湯

彼是と迷ふ無く 最も能く効く良藥神癒湯を試みよ 現に百方手を盡して効なき難症の血の道や、多年不治の年來の子宮病を始め固疾の病氣の方々が神癒湯の服用で漸次快方に赴き遂には其の辛苦より免かる事を得

こんな徴候 胸、腹、手、足、肩、腰、背、頭痛、眩暈、耳鳴、便秘、下痢、食欲不進、冷え、不眠、ヒステリー、リウマチス

本舗 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

赤毛染 ナイスから 色も艶も申分のないきらがなナイスが第一

ナイス五大特色 僅二十分で染る、何時迄も永く保ち、艶々と黒く美しく、襟枕に浸着せず、用法至極簡易 大瓶七十錢小瓶四十錢 男子用三十錢 發賣元大阪丹平商會 到る處の藥店化粧品店にあり

年金 恩給 長期立替 五ヶ年 大阪 京城商品陳列館南之坂

ねびえかぜ 夏の感冒は大抵寢冷からである、このねびえ感冒ほど言ふ迄もなく苦しいものはない、肺炎やチブスに變じて生命を危ふくする、若し感冒に罹つたら直に有名なるハカリ印のへブリン丸を用ゐて一時に病源を退治して了はねばならぬ

ハカリ印のへブリン丸 發行所 大阪北濱 合資會社 參天堂藥房

月やく 如何程長き難も妙薬メンニを御服用あれ 一個試用三十錢

赤毛を生ぜしむるの憂ひ絶對になし

レートポマード

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附が全く不要!! それ程附け工合こいひ、匂こいひ一點の非のない最新式の煉香油です 東京 平尾賛平

暑 激しきけふ此頃

起死回生 守田寶丹

惡疫諸病流行の時 何は措いても朝夕缺さず用意すべきは一番よくきく──模範的懐中藥

守田寶丹

家庭に執務に旅行に避暑に

一匙二匙必ず服用せば暑さにまけず元氣よく胃腸丈夫に食慾進み頭痛疲勞を防ぎて惡疫諸病に罹る事なく夏中愉快に暮される

主効 ●頭痛眩暈 ●氣附腰冷 ●中暑水瀉 ●下痢腹痛 ●腹冷吐瀉 ●食傷胸痞 ●過飲過食 ●惡疫豫防 ●船車酒の醉 ●日射病其他

定價 一金十錢・金二十錢・金三十錢・金五十錢・金壹圓 一三十錢以上は優美なる寶丹匙を添ふ

寶丹 寶丹錠 東京下谷池之端仲町 十二世守田治兵衛 振替東京二九八五 (各藥店にあり)

京城日報
七月十四日（夕刊を合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目 電話 [illegible]

第三版

支那統一の前途（一）

京城日報

支那の政變觀

中華民國建設以來、茲に六星霜。今や、大總統黎元洪既に其の權を失ひ、其の變に迷ひ、宣統帝復辟し、忽にして復辟又失敗す。一反一覆、所謂走馬燈の觀なき能はずと雖も、徐ろに民國建設以來に於ける支那政局の眞相を察すれば、共和又帝制、混沌に踵ぐに混沌を以てす。其の動亂の由て來る所以のもの、一朝一夕の故にあらざることを知らざる可からず。

第一革命の結果、清朝倒れ、袁世凱は民主政治を行ふと云ふ誓約の下に、臨時大總統の任に就きたりと雖も、其の舌根未だ乾かざるに、國會を無視し、專制政治を實行したり。是に於て乎、江西の都督李烈鈞、安徽の都督柏文蔚、湖南の譚延闓、廣東の都督胡漢民等に由りて試みられたる第二革命「討袁軍の運動起れり。袁世凱は五國借款に由り、軍資並に兵器彈藥充實せるを以て、革命黨を壓迫し、國會に對して「クーデター」を斷行し、參政院を組織して人民の意思に依らざる議員を任命し、勝手に新約法を制定するに至り、革命の精神は此時に於て業に既に滅却したりし也。

袁世凱は、之を以て自ら足れりとせず、隴を得て蜀を望み、龍袍の其身に加はらんことを期し、帝制の計畫を實行せんとしたり。其の反動として第三の革命あり。雲南の都督唐繼堯の獨立宣言を首とし、貴州、廣西、湖南、四川相踵で蹶起し、浙江、福建、山東の諸省相呼應し、支那は一大動亂の衢と化し去り、反帝制派の運動全國に瀰漫するに及びて、袁世凱は端無く、悶々の中に憤死するに至れり。袁世凱沒落の結果、黎副總統は約法に由りて大總統を繼ぎ、南北妥協を告げ、段祺瑞は責任内閣の名の下に國務總理と爲りて全權を掌握し、黎總統をして空位を擁せしめ、國會を壓迫して大に爲す所あらんとせり。而かも國會を牙城とせる南方派と、武力を根據とせる北方派との溝渠は此の時を以て鮮かに劃せられ、事實に於て、南方派の總統府と北方派の内閣と相分立し、政權は統一する所無かりし也。

對獨宣戰問題起るに及び、段祺瑞は、國務總理として、内は督軍派の兵力を後援とし、外は聯合國の勢力を假り、國會に對して「クーデター」を斷行し、參戰問題を解決し、以て國會を改造し、其の經綸抱負を實行せんとせり。然るに、黎元洪が、南方派の意見を容れ、突然段祺瑞の罷職を斷行するに及び、轉じて北方督軍派の反抗運動と爲り、安徽省長倪嗣沖の獨立を首とし、各省督軍の響應するあり。黎元洪は孤立重圍の中に在るが如く、張勳の調停に依頼して、纔に一條の血路を開き、江朝宗を署理首相に任じ、國會に對して「クーデター」を斷行したり。然れども、段祺瑞罷職以來、北京政府は事實上、主腦者無く、大總統は、進退の自由を失し、國務院は支離滅裂の狀態に陷り、閣員は名ありて實無く、宛然無政府の光景を呈しつゝありし也。然らば則ち民國の傾覆と復辟の斷行とは、必ずしも張勳の大擧入京を待て而して後に知らざる也。

張勳入京と同時に、黎元洪が其の提議を容れて、國會を解散したるは、是れ所謂自殺的の行動にして、春秋の筆を以て之を論ずれば、黎元洪は憲法蹂躪、民國破壞の罪人たることを免るゝ能はざる也。彼れ自ら憲法を蹂躪せり。民國を破壞せり。假令一時たりとも、宣統帝復辟の政變ある、豈深く怪むに足らん哉。

夏の金剛山

丸山晩霞

（十）雁門嶺の大森林──金剛山に十餘日を送つて京城に向ふ汽車中より、沿道の風景に接したとき、赤肌を現はした樹木の無い山河を望んで、アラビヤの旅行を思ひ出した。そして吾等は金剛山裡の人となつて雁門嶺へ踰へて楡岾寺に向ふとき、太古不伐とも云ふ可き大森林の續いてゐるのも朝鮮であるかとうたがつた。樅、大松、白檜、白樺、[illegible]、五葉松、一位等の大木は鬱蒼として晝も暗いやうである。[illegible]の聲もこゝで始めて聞いたが[illegible]も多く、[illegible]鳥、筒鳥、十一鳥等も鳴いてゐた。其他始めて見る小鳥も多かつた。樹下には種々の草花が美彩を點じて美はしかつた。栗鼠は人を恐れないで到るところにゐる。

大阪より

大阪支局 一記者

◆工場法は十三歳以下の職工を禁じたるも事實は立法者の豫期に反し幼年職工の數次第に增加す、現に南區の貧民夜學校に就て見るも二年級八九歳の生徒五十三人中無職は僅かに七人二十一人は、家庭の内職を手傳ひ他の二十五人は工作場に雇はれ戶外勞働に服しつゝあり、三四年級に至つては勞働益酷烈を極め全級殆ど凡てが錢儲に汗を絞る有樣、終日の勞働に疲勞困憊し夜間學校に來るも机に凭つて正體もなく眠ると聞けば誰か社會の現狀に泣かぬものがあろう。

◆氷と水は夏の世界を領す、大阪市には日本製氷、東洋製氷、龍紋氷室、日本冷藏、帝國冷藏の五社あり、日々二百餘噸の生産を示し京阪地方に供給しつゝあり、大阪市のみにて一日百二十噸の需用ありたる日ありと云へど、今年の如き大阪を冷やすには足らず、日々溫度と需用を增すのみ。

◆水は市の水道課に於て供給す、市外給水と人口激增のため本年は最大送水一日九十餘萬石の豫算、三月中の調査に見れば一戶平均二石二斗一人用量三斗一升多量の水を使用するは住友伸銅所の四千五百三十一石、砲兵工廠の三千五百五十六石、梅田驛の三千二百六十七石、新世界噴泉浴場の千六百九十石等を最とすと。

誰（11）

布施生譯

讀了ると阪の顏には聊か失望の色が現はれた。『今朝の事件に何か手懸りになるものかと思つたのに、之は普通の用事文ではないか、成程所有物は悉く一集に殘さず取片附けと、特に念を入れて言つてはあるが、之とて其意味はどんなにでも取れる、結局此手紙だけでは直接何の手懸にもならないと分つたので、阪は之を種に更にもう一歩進んでみる氣になつた。そこで壁尾に向ひ『この婦人の家は三十九號だつたね』『えゝ私が這入りかけたあの家です』『あれはあの婦人が自分で借りてるのか』『いゝえ家賃は鈴富君が拂つてます』『そうか何階目だね』『二階です』『よし兎に角此手紙は僕が預かつておく、君はもう歸るが可い』壁尾は困つた顏をして『それぢや私が鈴富君に義理が立ちません、手紙はあの婦人に屆けるやうに賴まれたのですから』『何、心配には及ばないさ、僕が代りに屆けるから、君はさつさと歸つて銀行を大切に勤めるさ』『ねえ』何處迄も高飛車に頭から壓迫されて、壁尾はもう何にも言へない、其儘意久地なく後へ引返した、阪は一寸思案したが、軈て一人首肯で此場から三十九號指して訪ねて往つた。案内に應じて出て來た取次人に、奥樣は御在宅ですかと訊ねると、取次人は迂散臭さうな眼をして返事に躊躇する樣子である。それと見てとつた阪は透さず例の手紙を內懷から出して『いや實は鈴富君から直接之を奥樣にお屆けするやうに賴まれたので』と云ふと取次人は直に疑を晴らして委細心得顏に、さあ此方へと、愛想よく早速室内へ通してくれた。奇麗な應接間に通されて暫く待つてゐると[illegible]の響を先驅に、奥から出て來た婦人は、齡は二十二三でもあらうか、金髮に化粧して立派に著飾つた、阪は忽ち今朝見た雛形をある、趣は違ふが何方にも劣らぬ美人同志である、『鈴富め中々な色男だなあ』婦人は阪と顏を合はせると、何だか勝手が違つたといふ表情をして、聊か不興げに『何御用で』と云つた、艶も愛想もない其仕打に、阪は『はゝあ此女御機嫌を損じてゐるな、そして無教育だわい』と鑑定した『いや何、鈴富君から貴孃への御手紙をお預かりして參りましたので』と下手に出て頭を下げると、婦人は、何だつてまあ鈴富樣が選りも選つてこんな薄汚いきよと〳〵した男を使者に選したのだらうと眼をたてゝ『貴方が鈴富樣を知つてゐるの？』『はア、先づ年來のお友達といつたやうな譯でして』『貴方が？』『はい、しかし奥樣、今日になつてみると、最早鈴富樣のお友達だと云つて出る人は餘り澤山は有るまいかと思はれます』言ふ事が一々仔細ありげなので、美那子夫人はやゝ氣味が惡くなつたのであらう『私そんな謎のやうな事は厭だわ、如何いふ譯だか明斷云つて下さいな』『まァ早く之をお讀みなさい』こう云つて彼の手紙を手渡した、夫人は受取つて一目それを走讀すると、はつとばかり蒼白になつたが、しかし氣丈の婦人である、氣を取直して阪に飛附くように其手を確と押へながら『どうしたんです、之は、どうして貴方は之を委託つて來ました』阪は返事の隙さへ無かつた。

日報詞壇

○初夏幽居（限韻）　古城 梅溪

薰風拂拂到幽寮。雨霽新晴麥浪搖。永晝史添絃誦樂。滿陰一篭道心饒。

評曰 幽境可喜

○讀騷經（限韻）　安永 春雨

夷齊俱採西山薇。點也冠童群浴沂。靈均空被漁父笑。弔湘問天獨永歸。字字皆淚滿篇血。千古文章日月輝。

國風一變楚辭新。千古文章泣鬼神。騷客漫推詞賦祖。美人香草繼靈均。

評曰 前律非不佳、不及絕句之妙、

十三日後場 入荷限月寄付二十三日〆九錢 [illegible]

[illegible]七圓の入電に[illegible]先二十圓二錢と十五錢安に寄付たるも投げに新規に賣物續出し忽ち十臺より〇五錢と暴落したるが、直に新規の利喰に買物多く忽ち形勢一變し[illegible]十錢丁度と反撥したるが戻りは又賣物多く[illegible]錢と安移り[illegible]十八錢と押し二十[illegible]

◎[illegible]物現はれたると[illegible]見に買物多く形勢忽ち一變二十錢丁度と大買を演じたるが大阪正安を受けて十六錢を押し十錢丁度と散合み引けたり市況は大阪の下寄せ賣物殺到し來り二十圓の大關門も打破[illegible]形勢[illegible]しか忽ち强硬の場面を呈したる等

▲[illegible] 同店の賣七千餘石買三千餘石
▲[illegible] 同店の賣六千餘石買三千餘石
▲[illegible] 同店の賣四千餘石買三千餘石
▲[illegible] 同店の賣三千餘石買二千餘石
▲[illegible] 同店の賣千餘石買二千餘石

▲大變動の激戰 [illegible]に[illegible]は文大[illegible]戰 大激戰を演出したり一時買廻りたる東各筋は大[illegible]を受けて[illegible]買引返し來る[illegible]に向つて[illegible] [illegible]

[illegible]

●早稻田軍勝つ

早稻田大學野球團と[illegible]野球團との試合 [illegible]

債權申出催告
自分儀亡父乙吉ノ遺業[illegible]ニ付[illegible]債權ヲ有セラルヽ方ハ[illegible]七月二十二日マデニ御申出[illegible]此段及催告候也
大正六年七月十四日
京城府淺井町三十三番地
[illegible] 義美
債權者各位

御禮
昨夕貴地出發の際は炎暑の折柄御見送を辱ふし奉謝候乍略儀紙上を以て御禮申上候
七月十四日
弓場重榮
同 はる

分拆所開始
本所の特色
△設備の完成▽
△技術の優秀▽
△分拆の正確迅速▽
京城明治町二丁目 電話七七七 江戸川橋入
田部分拆所

本邦唯一 防錆殺菌用 鈴印 レクオソートー油 類似品あり鈴印に御注意
桃印、菊水印、ホイルド油 達摩印、鈴印テレメン油 牛脂、ヘット、機械油、殺菌バクトリユウム 消毒金屬磨マーキユリー ナフタリン、ナフタリン液、ベンゾール、國粹グリース 其他化學的油脂塗料
代理店 京城 太田秀太郎 電話六三四番
特約販賣店 京城府龍山元町 木村光進舍 電話三五四番
京城府南大門通 吉野商會 電話七五七番
元山港旭町三 吉田商會 電話四八番
製造元 合資會社 吉川製油所 本店 大阪 出張所 東京、名古屋

東洋一 新形流行の魁
内田式ストロンク號は堅牢優美、價均一、耐久保證す
御旅行用 靴と鞄
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋 電話新橋一五五一、一八七一
登錄商標

純良石鹸 鶴の卵
東京 淺井支店製

初日、二日共晝夜滿員
名優「ツリー卿」は死すとも彼か演せるマクベスは活躍せり
MACBETH
沙翁大著「マクベス」全九卷
愈々今明日限り
早川演藝部直營 電話二〇五。五九七番
有樂舘

“PINE”
是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
◎六日本政府登錄 米國製正十四金『イリジユーム』付ペン（責任保險付）
◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
東京パイン萬年筆出張所 京城旭町二の六
定價 [illegible]
發賣元 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番
陳列所 京城本町一丁目 ウツボヤ書店

夏向の御進物は
芳醇無比泡立細かき
サクラビールに限る!!
御用命次第化粧箱入及商品券調進可致候

紛糾せる支那政局

▲北京總攻擊戰況
天壇陥落、段氏各公使に陳謝

永定門及び彰義門に其主力を集中せる張勳討伐軍は十二日午前三時より運動を開始し同四時半より火蓋を切りて總攻擊を開始せり先づ東路司令段芝貴氏は永定門より軍を進めて天壇の西北方面を包圍し天壇に砲火を集中せしが最初天壇の張軍は戰意乏しく忽ち降服す可しと推測し居りしに拘らず意外にも抵抗強く接戰三時間午前七時に至り漸く天壇を攻落するに至れり又一方彰義門外にありし西路司令曹錕氏は彰義門より入り先農壇の西北隅の廣場に陣し段芝貴軍と呼應して八時半より南池子にある張勳氏の私邸を攻擊せり然るに南池子に屯營せる張氏の兵は僅に一營五百人なりしに拘らず之れ又頑強に防戰し殊に張勳側より發射する銃砲の標準正確にして一時一方ならず討伐軍を悩ましたり

▲斯くして戰鬪は八時間餘繼續され正午近くに至り既電の如く張勳氏は自動車にて竊に南池子を脱出して和蘭公使館に遁竄し其の家族は墺太利公使館に避難せり而して討伐軍は初め正陽門西方の城壁上に砲列を敷き公使館區域を右に見て南池子を砲擊せん計畫なりしも天壇の敵兵意外に猛烈に抵抗したる爲め兩軍混戰となり討伐軍も天壇より後南池子を攻擊したるを以て流彈頻りに公使館區域に飛來し日本人一名米國人四名伊國人一名負傷せりされど日本公使館は安全にて北京在留一千餘名の邦人は逸早く公使館區域に收容せられたる爲め前記一名の負傷者を除くの外他は無事なりき偶段祺瑞氏は外國人中より負傷者を出したる事を遺憾とし取り敢ず曹汝霖氏を派遣し各國公使に謝罪せしめんとし曹氏は十二日午前天津を發して北京に赴けり而して戰鬪も茲に終熄したるを以て段祺瑞氏は十三日北京に入り國務院を北京に移す筈なり此の戰鬪に加はれる討伐軍總數は五萬にて張勳側は一萬五千と註せられたり(北京特電)

第卅九回特別帝國議會

貴族院(十三日)

十三日午前十時開會、諸般の報告は省略して直ちに日程に入り製鐵業奬勵法案兩院協議委員選擧に入り德川議長の指名に依り細川護立侯以下十名委員と決し

軍人恩給改正法律案
軍人救護法律案

の起案に就き委員長細川護立侯委員會の經過を報告したる後山脇玄氏より軍人恩給の給與件數及び人員を問ひ細川侯之に答へ「給與件數は七百九十一件人員は三萬有餘なり」と述べ兩案共委員長報告通り可決確定

電話事業公債法案

委員長寺島誠一郎伯より委員會の經過を報告し其決議通り可決確定

東京帝國大學及び京都帝國大學臨時支出金に關する法律案
學校及び圖書館特別會計資金の一部を一般會計に繰入るる件に關する法律案

右三案の委員長徳川頼倫侯委員會經過報告讀會省略にて原案可決確定

農業倉庫業法案

副委員長磯部四郎氏委員會の經過を報告して後山脇玄氏は米價調節に就き鈴木總兵衛氏は農業倉庫の利益分配に就き質問し仲小路農相の答辯あり過半數の起立にて原案可決確定

戰時海上火災保險法案

委員長松浦厚伯委員會の經過を報告し直ちに原案可決確定

造船奬勵金下附停止に關する法律案

委員長吉井幸藏伯委員會の經過を報告し直に原案通り可決確定

東洋拓殖株式會社法中改正法律案

委員長正親町實正伯委員會の經過報告後阪谷芳郎男、黒岡帶刀、阪本釤之助、仁尾惟茂諸氏より滿蒙の經營金融機關、重役任期等に就き質問あり勝田藏相一々之れに答辯し大多數にて原案可決確定

蠶絲業法中改正法律案

委員長大炊御門經輝侯報告通り原案可決確定

所得税中改正法律案(衆議院提出)の議事に入り目賀田種太郎男より「本案には政府は同意せしや」と問ひしに勝田藏相は「政府は同意を表せず」と答へ議長は特別委員の指名を爲し正午散會せり(東京特電)

衆議院

(十三日夕刊の續き)

次で樋口秀雄氏(憲政)登壇『前日堀切善兵衛君の演説中秘密會議の内容に觸るゝものあり議長は既に余の外交質問を同會議の内容に亙る故を以て院議にて取消さしめ今堀切君を咎めざるは如何』

▽大岡議長『樋口君も堀切君の演説を取消す可く院議にて決するの手續を執られ度し』次で

▽小山松壽氏(憲政)登壇し議事の進行及び國務大臣の答辯に關する質問を試み岡田文相の貴族院と衆議院とに於て前科者推薦に關する質問に對する態度に相違あるを指摘し社會風教上看過し難しと論じ犬養毅君が當時文相の行動に關して爲せる談話の一節を朗讀すれば與黨側よりの妨害盛に起る次で

▽福井三郎氏(政友)發言を求め『憲政會の諸君に問ふ一大臣が前科者を推薦したるは罪悪にして各大臣連署にて前科者を推薦せるは罪悪に非ざるか』と此時政友會席より拍手割るゝ如し

▽土屋清三郎氏(中立)登壇し政府答辯書の爲め箝口せられたる不平を喋々し傳染病研究所を攻擊して降壇、日程の質問は悉く延期して議事に入り

産業組合法中改正法律案外四案

第一讀會の後貴族院の修正回附せる製鐵業奬勵法案を議題とし元田肇氏(政友)より院議尊重の意見を述べ滿場異議無く兩院協議會を開くに決し連記投票にて政友會より七名國民黨より三名の委員當選す斯て再び日程變更

爆發物取締規則廢止法案
鑛業所有權戰時法案
鐵道計畫に關する建議案
國政調査施行に關する建議案
東方調査局設置に關する建議案
單科大學令發布に關する建議案
治水事業速成に關する建議案

を孰れも委員長報告通り可決確定

後議顧問委員長齋藤珪次氏請願四十二件に關し報告し全部採擇に決し外交調査會意見決議案を議題とす

▽齋藤隆夫氏(憲政)登壇『內閣以外に內閣類似のものを造り樞密院以外に樞密院類似のものを造り憲法規定以外に天皇直屬の機關を設立せるは憲法の要義を紊るものなり』と咆哮叱咤すれば政友、國民、維新會席より妨害到らざる無く齋藤氏の手にせる扇子を與黨議員に指し「他の言論を妨害するを以て能事とするワイ〳〵連中」など呼びしより與黨の彌次連承知せず

▽横田千之助氏(政友)の緊急動議に依り議員の對面を侮辱せるものとして齋藤氏を懲罰委員に附するに決し決議案議了に至らずして散會す時に五時半(東京特電)

▲製鐵業奬勵案
兩院協議會に附議

製鐵業奬勵案に就て貴族院は十二日委員會及び本會議を經て衆議院の修正中所得税の免除範圍を製鐵能力三千五百噸と低下擴張したるに對し政府原案たる三萬五千噸以上となすを至當と認め政府原案を復活して衆議院に回附したれば衆議院は之を議事に附し滿場一致院議尊重貴族院修正不同意の決議を爲し其結果兩院協議會の開會を貴族院に要求し委員の選擧を行ひたるが貴族院は十三日の本會議にて右に對する委員を擧げ直ちに協議會を見るべし(東京特電)

◎朝鮮蜜蠟不評

朝鮮産の蜜蠟は鮮人間家庭的産物として其の産額逐年增加の域に達し內地市場に向け輸出さるゝもの亦尠からず朝鮮物産中の主要品として注目を惹き殊に大阪市場に輸出さるゝもの最も多く其の數量に於て約五百斤內外而かも蜜蠟百斤の價格八十圓乃至九十圓の高値を稱へ居れるにつき輸出金額又四萬圓內外を下らず今後益々其の需要の增大を見むとする情勢に在るに拘はらず生産者は故意にパラフイン其他種々の夾雜物を混入し需要者をして意外の損失を招かしむる等內地市場其他に於て其の聲價を落す事尠少ならざる爲めに今般大阪朝鮮貿易同業組合より京城商業會議所へ宛て之等不正品の取締注意方を依賴し來れる有様なるが斯くの如きは朝鮮産品の聲價に關する而已ならず産業上憂慮すべき現象にして取引上一大頓挫を來すやも計られざるなるを以て會議所は此等不正品の取締方法を講ずると共に此際地方當局及び各種産業組合等の注意と指導に據り此等惡習慣の矯正に一段の努力を加へむ事を切望し居れり

◎雜穀實收高

昨大正五年の雜穀作は六七月頃京畿以南の各道に於て水害を被り多少生育を阻害せられしも其後の發育良好なりしと北部地方に於ては發芽當時より概して氣候順調に進み生育良好なりしに依り裸麥及び蕎麥を除く外何れも前年に比し一反歩收穫高を增加し總收穫高に於ては粟稗及び玉蜀黍は作付反別の增加と作柄の良好とに依り黍及び蜀黍は作付反別の減少したるに拘らず作柄の良好なりしに依り裸麥は作柄不良なりしも作付反別の增加に依り何れも前年に比し增加を見蕎麥は作付反別の減少と作柄の不良とに依り減少せり即ち粟は三百七十六萬三千八百六十一石稗は八十二萬九百八十二石黍は七萬四千九百八十五石蜀黍は五十三萬三千五百三十石玉蜀黍は四十五萬七千八百七十九石蕎麥は五十六萬三千三百四十四石裸麥は四十四萬八千五百七十七石にして之を前年に比すれば粟は八分一厘稗は四分九厘黍は四分蜀黍は八分六厘玉蜀黍は一割六分裸麥は七分二厘の增收にして蕎麥は一分六厘の減收を示せり

◎張勳獨兵を利用す
獨支國交斷絶恢復を圖らんとの陰謀

傳ふる所に依れば張勳氏は十一日北京城外の西山に武裝解除の上監禁し居りし獨逸兵を解放し其の獨逸兵に依り自己の兵を操縦せしめたるものにて若し復辟成功せば上諭を以て獨支國交斷絶の恢復を圖らんとの陰謀ありしと云ふ(北京特電)

◎張勳軍徐州歸還

張勳麾下の軍隊は武裝を解除し三箇月分の俸給を受取り何れも徐州に歸還せり(北京電報)

◎朝鮮製肥近況

府下橋口町所在朝鮮製肥株式會社は昨報の如く七月二日大體の設備を整へ會社事業の一部たる肥料製造を開始し尚現下倉庫二棟の增築工事中なるが當分は之れに止め以後漸次石鹼製造並に鞣革事業に及ぼさんとしつゝあり又製肥原料の本年七月より明年三月迄即ち九箇月間に於ける需要高は約百三十萬斤にして之等原料の蒐集に就ては最初平安南北道及び黄海道に於ける屠牛より生ずる牛骨を以て之れに充當する豫定にて從來の商習慣に從ひ所有者又は仲買人より時價を以て買收し一面社員を各地に派遣し購入しつゝありしが然るに會社成立と同時に斯業の商人連等は便宜の地方に於ける原料を買占め又は所有者を煽動して相場を騰貴せしむる弊ありて蒐集上頗る困難を感じつゝある狀況なれば愈々原料不足の際に於ては勢ひ滿洲方面より輸入するに至るべしと(平壤)

◎吉會線運動順調

過般咸北清津其他を代表し吉會鐵道速成運動の爲上京中なりし清津四元元次郎岡本常次郎の兩氏は十二日歸京十三日午後清津に向け出發したるが同氏等が東京に於ける運動に對し單に東西間島の利益を主として運動を試つゝありしが如く傳へしものあるも其は何等かの誤解なるべく要するに吉會鐵道急設問題は帝國の外交關係上詳説するを得ざるは頗る遺憾なるも事實は良好に進捗しつゝあり

◎平壤附近の喜雨

連日の旱天に農民の憂慮一方ならず只管降雨あれかしとのみ祈りつゝありしが十日午後四時より十一日午前十時まで降雨あり一坪の雨量一石八斗に達し大同江も非常の增水を見たるが打續ける折柄とて農民の喜色察するに餘りあり因みに此降雨に依りて平壤附近一帶は植付に從事するを得んと(平壤)

◎立花師團長檢閲

第十九師團長立花中將は十三日午前十時より龍山練兵場に於て龍山駐劄砲兵隊を檢閲したり

◎京畿隊署長會議

京畿道管內隊署長會議は六月中に開催の筈なりしも突如隈部大佐の東上ありし爲め其儀となり歸任次第開催の筈なりしが又々當分延期する事となれり

◎鐵道院新設停車場

本月十一日より東北本線二本松松川間に安達停車場(二本松より二哩六分松川より三哩一分)並に同二十日より信越本線篠ノ井長野間に川中島停車場(篠ノ井より二哩七分長野より三哩一分)を設置し一般運輸事務を取扱ふ旨其の筋へ通報ありたりと

◎村田滿日社長出發

滿洲日々新聞社長村田誠治氏は十三日朝入京不知火旅館に投宿せるが十四日午前八時三十分南大門驛發列車にて內地へ向け出發せり

◎村瀬氏來鮮期

元朝鮮鐵道局副參事たりし鐵道院囑託村瀬鎌次郎氏は來る十七、八日頃釜山著の筈

□重要電報＝欄外にあり

人事消息

▲齋藤大尉(元山憲兵分隊長) 十四日午前九時三十分出發赴任
▲市川堅太郎氏(第三十九旅團長) 十三日夜入城同旅館へ
▲渡邊利作氏(製糸業) 十三日夜發歸京
▲本田幸介氏(水原模範場長) 同上
▲平澤圓氏(米國農業家) 同上

南言北語

敗色既に歴々たるに關せず北京に籠城し窮鼠猫を咬まんとした張勳の末路はたしかに悲劇である▲頑強にして時勢と沒交渉な彼が自己の體面上より重圍の裡に最後の一戰を試みんとしたのは▲飽迄も張勳の張勳たる處を發揮して居るから痛快にも見ゆる▲イザとなつて妻妾等が將軍を棄て獨り逃げるに忍びずと鐵の袖に取りすがつた處は北邦の勝家を思ひ合されて哀るに勇士の末路が哀れに感ずる▲張勳の横暴は固より不可なれど一張勳を屠りたりとて其の得る處果何ぞ▲民黨の作戰未だ成らざるに先ち天下を自己の掌中に歸せしめんとする秀吉の策▲南方に機を窺ふ家康の爲に乘せられざれば結構である▲福は寢て待て、之れ支那に於ける處世の秘訣である▲引込思案は最後の勝利者で馮國璋の如き徐世昌の如き能く此の間の機微を解するものである▲支那では臥榻の鼾睡が上乘の分別と見ゆる▲刀折れ矢盡きたか知らぬが張勳も和蘭公使館に逃げ込んだ相な▲和蘭公使館と日本公使館とはお隣りで兩方の窓から能く見ゆる▲日本公使館には黎總統が居る▲云ひ合せた様に隣り合せに能く逃げ込だものだ▲落ち行く先は九州さ、がらなんて洒落ても居れまい▲張勳の復辟上諭の刷物ば當時市中で一枚六錢でドン〳〵賣れたが▲最う骨董品となつて價が出るだろうとしこたま買ひ込んで持つて居る者もある相な▲之れぢや復辟も骨董品になる筈だ

兩院議事別電(十三日東京發支社電)

其の一 本日貴族院第三回豫算總會を開き[illegible]
其の二 [illegible]
其の三 [illegible]決算總會を開き[illegible]本府關係[illegible]
其の四 會計檢査院檢査報告の通に決議せり
其の五 本日午後貴族院特別委員會に於て四年年度朝鮮事業公債[illegible]の件承諾を與ふる事に決議す因みに衆議院本會議は午後一時開會せるも本府關係事項なし
[illegible]事業會社監督の機關は本店を東京に置くは事業の擴張に逆行せず[illegible]

京畿道牛屠殺數

京畿道[illegible]頭にして內譯左の如し[illegible]を保つ能はざるに依るものにて病氣の爲には[illegible]受られず(長春特電)

忍術の極意

前代未聞の珍書出づ

忍術は魔法に非ず、又催眠術の類にも非ず、何人も實行し得べき最も合理的の科學的護身法なり、往々、世人其存在を疑ふものあるは全く其眞體を傳へたるの書之無きに因る、伊藤先生苦心十年、心血を注きて其秘法を探究し、漸く鑑奥を極めて、爰に其極意を發表せらる、諸君もし神出鬼沒虚實自在、頗妙不思議の忍術眞理に接し之れを練習會得して、護身の利器となし、臨機應用の訣を希はんとせば本書を見よ!

本邦唯一の忍術研究家 伊藤銀月先生著(好評第八版)

○四六判美裝定價六十錢 送料六錢

目次概要 ▲忍術略史、忍術六具、之が[illegible]

忍術實驗會 六月廿三四日、東京歌舞伎座にて擧行す 忍術は即ち[illegible]時代に非ず實行の時代なり

注意 近頃東京催眠術學會の名を以て忍術氣合術[illegible]も右は本書より拔書きせる無責任の書物に付其發賣を禁じたり

發賣元 東京上野櫻木町一七 振替東京三四〇六〇 武俠世界社

玩具卸商
薄利多賣出荷迅速は弊店の特色
京城本町一丁目 織田東洋館
電話二六九八番 振替京城二五六七番

繪本稗史小說

思ひ切つた安い値段で珍本奇書が讀まれる

博文館編輯局校訂

繪本稗史小說は徳川時代の讀物たる馬琴京傳等の讀本類より人情本類迄を網羅し何れも挿繪入りにて通俗小說中の精粹を拔き[illegible]

體裁 四六判和裝約百本
紙數 毎冊約四百五十頁
活字 新號十ポイント組
口繪 極彩色二葉乃至十葉
挿繪 九十個乃至百個
正價 各冊八錢

1 繪本三國妖婦傳 松浦佐用媛石魂錄 新刊
2 [illegible] 續刊
3 松風村雨物語 浮瑠璃姫 繪本在原草紙 續刊

東京 本町 博文館

浮石鹼專門
京城府漢江通七番地 大和石鹼製造所
電話四一一三番 振替京城二九〇五番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店
電話四八一 九四四 振替京城五七番

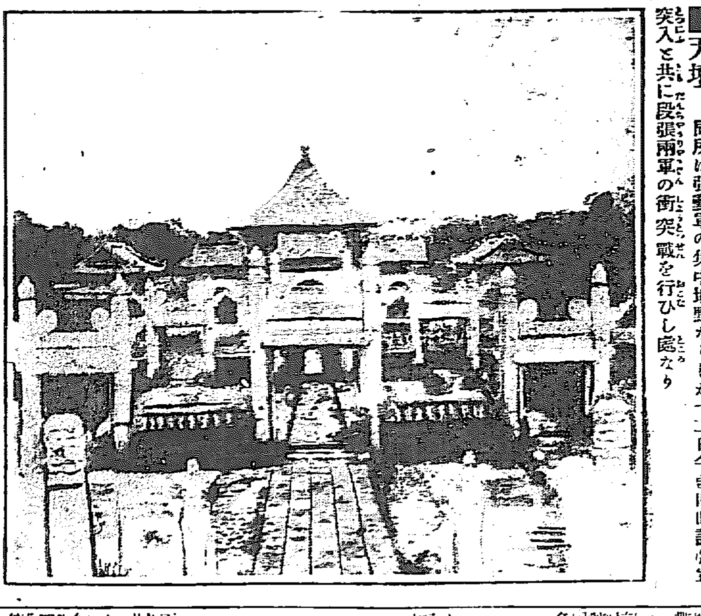
十二日午前十時貴族院本會議を開き[illegible]朝鮮事業公債法中改正法律案及び用品資金會計法廢止法律案は何れも特別委員長報告通り可決せり

[illegible]會社に使用せしむるは妥當ならずと認むるを以て斯の如き特例を設けざらんことを望む旨分科委員長より報[illegible]

長驅[illegible]は前報告の通り（三）鎮南浦築港の[illegible]は政府の辯明を是認し（四）鐵道延設及び改良費の繰越は[illegible]

[illegible]説明あり次で山內一次倉知鐵吉安場末喜柴田家門谷森眞男の各委員より會社營業地域移民奬勵方針滿蒙合併[illegible]

[illegible]午休憩午後一時半引續き開會討論に入り衆議院回付通り全會一致を以て可決せり



■天壇＝同所は張勳軍の集中地點なりしが十二日午前四時討逆軍突入と共に段張兩軍の衝突戰を行ひし處なり

●金剛の雨 水晶の如うた
五十餘日間の探勝
丸山晩霞畫伯談

■山越獨は有つたが高山植物は見つからず圖

山岳研究家として知られたる丸山晩霞畫伯は畫家河合新藏氏と共に五月下旬より五十餘日間金剛山の探勝を爲し過日京城に引返へしたるが其の談片に曰く

私共は五十餘日の間金剛山の溪谷に分入り深林を穿ち其の勝を探究して來た金剛山は矢張り聞いて居つた通りの絶勝であつた

金剛山の勝はアルプスの山や又日本アルプスの如な山と其の趣たを異にし全山一枚の花崗岩より成り立ち浸蝕に由り或は嶄巖尖峯と聳へ或は千仭の深谷と成るもの皆一枚の岩石から成つて居る事と其の成立せる花崗岩が何れも風雨氷雪に磨きあげられて如何にも立派である溪谷を分け入れば山は紫に水は透明にして

神嚴の氣が身に沁み

入る感がする斯くの如き淨境に來ては神佛を勸請奉祀せんとする崇高の念の生ずるは人間が先天的に信仰心を有して居る證據でありませう、金剛中に多くの古寺名刹の存在するのも斯の理に外ならぬものと考へられます私共は初め温井里に滯在して外金剛の勝を採り更に夫れより

內金剛の勝を採り長安寺に出で歸路には引返へし溫井里に

海金剛を一見せり海金剛は其勝言ふに足らざるものであると自分は思ふ金剛山は景福宮內に在る模型の如きものとは全く其の趣を異にし溪谷に面したる山峯、谷地は其の山骨悉く露出く研磨せられ一撮の土をも止めざれど其の背後は何れも比較的緩勾配にして森林鬱蒼として繁茂し居るを以て溪谷の裏面より登れば

何れの山にも容易に

登攀する事を得る所謂金剛の勝を形成する花崗岩はニユートラルチントの濃厚色にして其の上に薄き雲霧を帶ぶる時は鮮明なる紫色を現はし極めて艶麗にして神彩を帶ぶ私は高山植物の採集をも爲さんとしたるが金剛山の草木は未だ漸く山躑躅の蕾の色づきし位にて樣々の高山草花を見る事を得なかつた

■金剛に就く旬日ばかり前から降雨が屢々あつて登山には不便であつたが金剛の雨は又一種の美觀に相違なかつた金剛山の溪谷には些しの土砂も無い爲めに三十分も雨が降ると忽ち水晶の如うな奇麗の水が滔々と増して來るが雨が歇んで二三十分もすれば又忽ち減水して終ふ金剛山は非常に高いが其の登攀が困難で無いから左程高い處へ登つた樣に思はないが下る時は谷底のやうな處が次の峠の山頂に成つて斯うした谷底と思ふ處の次が又谷底のやうに低くなつて漸く海岸まで降りて來るのを見ると如何に知らず識らずの間に高く登つて來たかに驚かれるのである

◇東宮殿下還啓

去る三日東京御出發山陰道方面御見學中なりし東宮殿下には十三日午後二時東京驛御著御機嫌麗はしく還啓あらせられたり（東京特電）

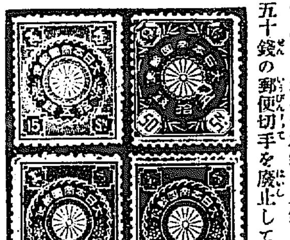
◆廢止される郵便切手◆
歐米各國に於ける切手の種類
‖五十錢、十五錢、八錢、六錢其の他封皮類いろ／＼‖

遞信局通信課長 矢野義二郎氏談

朝鮮では郵便切手其の他郵便料金を表はすべき證票に就ては特定のものを除く外遞信省令及び同告示の

■定むる所に 據るやうになつてゐる、で去る五月二十八日に公布された遞信省令第十八號により來る八月三十一日限り五十錢、十五錢、八錢及び六錢四種の郵便切手並に二錢の長形封皮、同角形封皮、三錢の長形封皮、同角形封皮及び大形價格表記郵便物封皮、同大形封緘紙を廢止する事となつたから、朝鮮內でも亦九月一日以降以上の郵便切手及び封皮類は

■之れを使用 し得ざる譯であるされば以上の郵便切手類を所持してゐる者は右の期日迄に使用するやうにされたい、抑も郵便切手の種類やは郵便及電信電話等の料金制度と至大の關係があるので、目下の料金制度では最早や六錢、八錢、十五錢、五十錢の郵便切手を廢止しても格別の不便がないから之れを廢止する事になつたものであらう



■此の機會に 切手に關する二三の說話を試ろみやう、吾國に於ける現行郵便切手の種類は十七種だが前記四種の廢止により十三種となるわけだ、又額面の最小額のものは五厘切手で主に新聞などの第三種郵便物に使用され、又最も高價な十圓、五圓、一圓等の切手は電話加入登記料、內國電報料及び電話料等に使用せらるゝ事が多いけれど、各種切手の中最も多く使用さるゝものは三錢、五厘、二錢、十錢等である

■英國に於る 現行郵便切手の種類は總數十八種而して最も小額のものは吾が二錢の半片で高額のものは一磅乃ち十圓並に十志約五圓二志半邦貨の一圓五十錢等があるけれど矢張り吾國の樣に半片一片及び二片二片半などの切手が最も多く使用せらるゝらしい米國でも現行郵便切手の種類は總數十八種で最小額は一仙切手乃ち吾が二錢高額のものは五弗十圓二弗四圓等あるが米國では御承知の如く電信電話などの

■事業は民營 であるから之等に郵便切手の使用をたさない、從つて多額の郵便切手は其の賣捌高比較的少なく、米國の大を以てしても五弗の郵便切手は一箇年僅々三千枚一弗切手の如きも一箇年九萬枚內外の賣捌きあるに過ぎないと云ふ、序でに米國では從前新聞郵便の多數引受用のため其の料金納入の證として郵便局內にのみ專用する百弗の郵便切手があつた

■これは特に 郵便局長が、スタンプを持ち鹿爪らしい面をして其の消印をやつてゐたが、然し現今は之れを廢止してゐる、尚ほ郵便切手なるものは僅々方一寸にも足らざる範圍內で各種の意匠を凝らしてゐる國により時代により千種萬樣の差異がある例へば其の形のみに就て云ふも方形、長方形、圓形、菱形、八角形、橢圓形、三角形等種々雜多の形式あり、又其の內容に就ても非常な種別があるけれど、其等の詳しい事は他日に讓らう

●關野博士一行の發掘した
一千五百年前の墳墓
‖平北雲山郡にあつて俗に御滿墓と呼び其中に皇帝墓、侍女墓、遊魂台などある‖

平安北道の雲山郡東新面龍湖洞には昔から俗に御滿の墳墓と云ふ古墳があつた此の墳墓は其數三十一を算し今から約千五百年前の建造だらうと鑑定されて居るが其中には皇帝墓、侍女墓及び遊魂臺又は馬臺と云ふものが拵へてあつた其の位置は侍女墓を中心として四間許り北に皇帝墓があり東方百八十間許りの地點に遊魂臺が配置されてある

■丁度今から十年前

支那人の羅閣と云ふものが同國人の王某と共謀して皇帝墓を發掘し其の中に深く藏してあつた種々の遺物を持去つた事がある其時此の發掘に從事した土地の男女五名は發掘後俄かに發狂して一名は遂に死神に捉へられたと云ふ噂がパツト立つて其れ以來里民は誰れ一人此の古墳を發掘しようと云ふ企みを立つる者も無く此の墳墓を益々崇拜する念に驅られる樣に成つたが之れと同時に發掘者は必ず恐ろしい

■神罰を蒙つて發狂

すると云ふ噂が盛んになつた所が此度總督府古蹟調査委員關野博士一行に依つて調査の上愈々發掘される事となつたのである發掘して見ると皇帝墓は外形富士形に土盛を爲し覆蓋石の一角約二尺四方は損壞し上部の盤石は約二間四方大で其の周圍を石で疊み深さ一丈六尺の空洞を爲し地盤は上部と同樣敷石で其の下部より發掘に掛つた所

■地下一丈二尺位に

高さ四尺幅一間位の墓門があるのを發見した丈で他に何等遺物を見出さなかつた侍女墓は直徑五間餘四角形を爲し疊石で築造されてあつたが發掘の結果金銅鳳凰破片四個、金銅透金具破片一個、金銅圓筒形二個、金銅製釘及び鎹二十二個、鐵製矢の根一個、土器破片數十個を發見する事が出來たが之等は皆高句麗朝時代の物で何れも千五六百年を經過せる物だらうとの事である此の發掘に際しても土地の里民は誰一人人夫として

■應募するものなく

漸く之に從事せしめた樣な有樣で今尚里民は神罰あらむ事を虞れてゐるが自分達の崇拜してゐる古墳を總督府で發掘するのは將來朝鮮に英雄傑士の輩出を虞れた結果だとか又は古墳調査の美名の下に金銀財寶を發掘して金儲けせん爲めだらうとか子供見たいな浮說が遠近に生れつゝあると云ふ事である

●信貴山丸撃沈さる

長崎橋本商道所有信貴山丸（三〇八二噸）は五日伊太利ゼノア港發マルセーユに向ふ途中七日ケーブルサイト附近にて撃沈されたり乘組員船長以下四十二名の中二名輕傷他は無事にてマルセーユに上陸せり（大阪特電）

●飛んだ火事騒ぎ
電話で消防署を欺く

十三日午後二時四十五分南山町消防署へ慌しく內地人男の聲にて「私は水標町の豆腐屋なるが今自宅より出火せり」との事に詰合の消防署員は時を移さず二頭立の蒸汽喞筒を引出して現場に駈付けし所道は抑も如何に水標町の豆腐屋は以前ありしも既に他へ移轉してあらず殊に火事らしき氣振りも見ゑざるにぞ數名の署員は一同呆つこ許り開いた口が塞らず猶も附近を隈なく搜索せしかど恰も狐に誑されし如く全然跡方もなき噓報なるより念の爲め電話交換手に問合はせしも時を經たる事とて是亦摑へ所なく目下警察は取調中なりといへるが初め電話を受けたる署員の談に據れば其通知振が餘りに慌だしかりし事より推すも滿更ら何者かの惡戲とも思へず或は狂人が幻覺により火事の起りしものと思ひて報知せしものに非ずやと

●大豹に咬殺さる

去る一日午後十一時頃慶北尙州郡化東面新村里へ一頭の大豹現はれ出で同地李南村方の表入口より室內に入り折柄熟眠中なりし李の左腕を噛み入り是れも眠り居たる同人の長女景任（一二）を咬殺して同家を距る西方五丁の小麥畑中へ咬へ行き手足を喰ひ盡して逃去りたり死體に衣裳を隱したり右に付同地住民は近く大獵して豹狩りを行ふべく目下準備中なりと

●貫鐵洞の火事

十三日午後三時五十四分貫鐵洞百二十一番地村木商舞昌根方より出火し溫突二間半燒失同四時五分鎭火せり原因取調中

●旅人宿荒し

住所不定の商人某（二〇）は各旅館に泊り込み客の風を裝ひ宿泊人の寢入りたる頃を窺ひ枕探しを爲し宿料まで踏倒して逃走するを常とし此の手で引掛り旅宿は本町三丁目十二番地村龍圭方外七箇所なりしが此程鍾路署巡査の手に取押へられ十三日檢事局へ送らる

●小學生の溺死

全北益山郡大場村公立小學校尋常五年生安藤ふさ（一二）は去る七日正午學校よりの歸途全北金堤郡白鷗面廣田里の附近なる萬頃江渡川中誤つて激流に浚はれたるより所轄憲兵隊にては學校組合員と共に協力して屍體搜査に力め又た八日の朝來よりは多數の人夫を指揮して搜査し居れども未だ行衞不明なり

平北熙山郡眞面杏川洞に臨濟宗の僧侶で村永默といふ者がある▲同人は曾て江華島の普門寺にゐたが此の時他の僧と相談して天然野生の植物を喰ふ習慣を養ふといふので▲去年の七月から先づ松葉を食ひ初めたが他の僧は途中で之れに耐へ得ず廢めて終つたのに彼丈は松葉一椀米五勺大豆一合位を常食としてゐるさうである▲最初は身體の衰弱甚だしかつたが馴れるに隨がつて恢復し今では顏色蒼白生氣には乏しいけれども豫ての胃腸病は全快したさうだ▲日本人中には暑い時だからと言つて地の薄いフロツクコートを著てパナマや麥藁の帽を冠り赤靴なぞを穿いて得々としてゐる人がある西洋人から見れば非常に滑稽に見ゑるさうだとは猪原朝鮮ホテル支配人の話

●孟吉林督軍歸る

吉林督軍孟恩遠氏は十三日朝突然歸來せり北京にては一身の安[illegible]

[illegible]斃死撲殺及び屠殺狀況を見るに[illegible]一萬二千九百三十五頭斃死八百九十一頭撲殺二頭屠殺數七萬六千四百八十五頭
▲斃死 [illegible]
▲撲殺 [illegible]
▲屠殺 [illegible]

京日案内

明治町佛蘭西教會坂下（舊明治町入口） ドクトル 中村齒科醫院 電話一五八三番 分院（黃金町二丁目郵便所隣） 電話一八九番

京城大平町二丁目 土管 下瓶 植木鉢 新荷著 山本商店

普通一回前金五十錢 番外一回前金（四行一回每に拾錢增し）
▲申込後中止の節は前金返戾せず
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御申込の節は必ず日附を御記入のこと

【普通】
店員入用 年齡十八歲以上御得意廻り要身元保證 電話龍山五〇二番 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 278
▲甲種看護婦入用 南大門通り農銀裏 電話三〇六五 ○○醫院 282
古本と古樂器高價買受 本町ロッポン 評判 215
男女有給記者社員八名募集要履歷書本人來談 京城吉野町二ノ二 帝國新報 284
貸家 黃金町一丁目三井物產附近 日本建物二階家間數九、湯殿水道電燈有 蓬萊町中村 電話一九七七番 275
讓り店 本町通り目拔の場所何商賣にも適する格好の店 姓名 住所 281

【番外】
自轉車月賦販賣に應ず 京城黃金町二丁目角 イバラキ商店 電二一九二七 172
恩給年金立替 五年迄利一〇 卽時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 283
勸業債券高價買入 但地方は御一報次第代金送呈致候 京城府南大門通一丁目漢城銀行向 常磐商會朝鮮支部 280
礦物定量分拆 六年町二丁目二二五 電話長三四四 朝鮮公論社左横小路 坂元分拆所 254
乘合自働車 京城春川間 京城發前八時 賃金片道四圓 京城水標橋通り 電話二一三八番 春川發前八時 春川自働車商會 松田壽男 263
共樂社遊船部 龍山電車終點漢江畔 電話九二八番 本社の遊船は料金安價にして新造屋形船なり 140
年金恩給月利一歩二厘立替 短期三年半迄無保險 長期 卽時全額 商品陳列館表門前下角 京城永樂町一 江州屋本店 166

最新刊

書名	著者	定價
朝鮮語法及會話書	朝鮮總督府	一、二〇
怪獨艇潜航記	パウル・ケーニッヒ手記	八五
化學工業一卷	三册一時拂 一五、〇〇 分拂 一八、〇〇	
術としての教育	千葉命吉	一、六〇
教育學說の進化	中島半次郎譯	二、八〇
雄辯術	尾崎行雄	一、二〇
實踐國際爲替	小林丑三	一、八〇
在朝鮮內地人紳士名鑑	朝鮮公論社	特三、〇〇
野球年鑑	大阪朝日新聞社	四〇
琵琶名曲集	永田錦心	八〇
對照新舊朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽		三、〇〇
支那の眞相	大河原隆光	一、七〇
西藏蒙古秘密喇嘛教大觀	石川照三郎	二、五〇

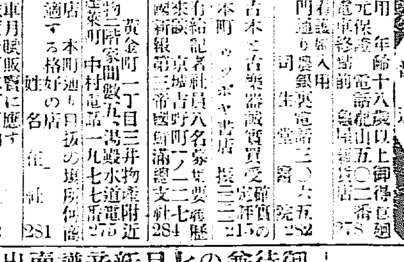
大阪屋號書店

▲廣告▼
●筍鑵詰 三斤詰
●同 六斤詰
●同 三貫五百匁詰
●松茸鑵詰
●福神漬大小
●グリンピース

各鑵詰類は御承知の如く鉱力板大暴騰と各地好景氣の爲益々上進の成行にて殘に右の品々は天井不知の相場に御座候得共幸に弊店は五六月の仕込最中に各產地へ出張致居候に付格別の利口品を相當仕入置候間何卒多少不限御注文仰付被下度願上候
多數御用の場合は大阪の貯藏品御積入可申上候

食料品問屋 京城南大門市場 刀辻本商店 振替京城三八番 電話長七五番六四一番

御待兼の七月新音譜賣出



「新譜レコードは定價の半額提供」

京城本町二丁目 日本蓄音器商會 電話一二一番 振替京城六八四

內外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目（壽館前） 電話二一六番
高井醫院
院長 醫學士 高井貞治
副院長 醫學士 松崎正彥

陸軍御用酒
京城蓬萊町
發賣元 三巴酒造株式會社
大田出張所
平壤出張所
特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

花かたみ（五四）

松田竹の島人作

田淵は悉皆感心したやうな擧動で『實にお前は智慧者だよ。男に爲たら大したものだがねえ。』

『何んです其麼ことを言つて人を嬲つて、嬲てと春にや乘りたくありませんよオホヽヽヽヽ』とお豐は笑ふて、

『ではね田淵さん、妾が電報を打つたら直ぐ金を送つて下さいましよ。』

『可いとも直ぐ送ることに爲る。送る許位送つたら可いかねえ？』

『然うですねえ。』とお豐は考慮へて『百圓もあつたら可いでせう。』

『百圓で可いかれ？。』

『可いですとも。』

田淵は、月給が百二十圓であつたし、會社の六月の半季決算で、二千圓賞與金を貰つたし、親讓りの財産もあつたから、金には少しも不自由はなかつた。けれども心を戀に狂はせ、お豐を使嗾して、それに出つて無益な金を費消はねばならなかつたのは、淺間しいといふより外はなかつた。

『それから田淵さん、妾は今日思ひ懸けない方に逢つたんですよ。』

『思ひ懸けない人ツて誰れだい？。』

『眞個に思ひ懸けない人。當てヽ御覧なさい。』

『其麼こと言ツたつて當るもんぢやない。』

『貴方の舊友の方。』

『はて誰れだらう。』と田淵が首を傾げて考慮へてゐると、お豐は微笑みつヽ

『早見さんですよ。』

『早見に逢つたつて……』と田淵は意外なのに眼を圓くした。

『何處でさ。』

『何處ツて貴方、眞個に奇體ぢやありませんか、早見さんは親父の家の二階に居るんですよ。』

『早見がねえ。』と田淵は益な意外なのに驚く。

『妾が奉公に出る位ですから、親父は好い生活を爲てゐないでせう。ですから二階を貸すんですが、今から三月前に早見さんが借りたんですとさ。滅多に自宅に往かないもんですから、今まで些とも知らなかつたんですが、今日此方へ來がけに、久し振りに寄つたんですよ』とお豐は[illegible]越しに早見を見たが、向ふからは氣が付かなかつたこと、そして早見は餘程窮乏つてゐて、今月分の部屋代も拂へずにゐること抔詳しく噺した。

『早見の奴、多分東京には居ないだらうと思つてゐたが、それぢや何日東京に間誤ついて居たんだねえ』

『部屋代も拂へない程窮乏つてゐるんですから、市野さんにでも往つて助けて貰へば可いんですにねえ』

『正可市野のところへは往かれんさ……實は早見の居處を知りたいと思つてゐたが、お前の家にゐると爲ると、頗る好都合だ』

『早見さんと、市野の奥様とは、仲をよくしてゐらつしやいましたから早見さんの窮乏つてゐるのを幸ひ、助けて遣つて、然うして市野の奥様が、貴方に御贔屓に爲るやうに、旨く言はせる工夫を爲たら、一方は妾の手で金のことがあるし、一方からは早見さんが言ふで、これだけ情の硬い奥様だつて、御心が解けるだらうと思ひますが什麼でせう』

『そりや少し考慮へものだね』

『然うでせうか』

『早見は莫迦正直で、融通の利かない男だからねえ』

『妾は今御噺するやうなことを思つたもんですから、親父に嚴しく催促しないで穩よくして置くやうに言つときましたよ』

一つあげよか木村屋パンを など丶じらして憎い人 （京城明治町 電二八七〇）

諸官衙御用達 山羊乳 京城獨立門東側 山羊牧場 電話一七七二番

涼み臺

◇無學者を選拔 高等學校の試驗問題や、文官の試驗問題などは總て印刷局で印刷する其印刷所は誠に嚴重なものであるのは勿論だが、そして印刷を受持つ職工は定めし腕揃ひであらうと思ふと大違ひ、實際は一番頭の惡い無學のものばかり選拔して受持たせるこれは試驗問題を見ても何のことか分らず、從つて他へ洩れる憂ひがないからだと文部省での話し

◇宮相のヨピ病 波多野宮相は此の月初めから暑さ當りで引籠つて居る然るにヒソ〳〵と省内の彼方此方に囁かる噂によれば『アレは腸を痛めたのでも何でも無い、實はヨピ病かも知れん』とのことヨピ病とは餘り聞いた事の無い病氣だと訊かると『ヨピは即ち豫備で詰り豫備病と云ふ奴サ』は餘りに神經過敏

入院隨意（診察夜九時迄） 皮膚病 徽毒病 痳病 膀胱病 生殖器病 機能障碍 皮徽科 京城明治町二丁目（元旭町） 佐藤醫院 （電話一一七三番） 日曜祭日午後二時迄

一日一句

夾る峰の麓夏かすむ街の青葉　鳥兎

女言葉の茂り行く雪白の洋傘　瀬村

雛林同人會詠草

つヽじ花ゆふ日にはゆる谷かげのいはほにひヽく雉の聲かな　丸野學

木の芽つむ少女のうたもたわはてヽ雉子しばなく宇治の山里

裾野路かすみになびく夕ぐれをふた聲なきて雉のとびゆく

夕日さす外山の峰のつヽじ原妻こふる雉のこゑしきるなり　岩本あい子

相撲の歌

京城 高須賀獸

入らんとし入れさせじとする爭ひのはずみに轉ぶ力はあはれ

大なる力に轉ぶ小さなる力はあはれ茶飯事のことし

讀者の領分

◎ツバメ香水懸賞 [illegible]

▲官廳の共用給水使用者中甚だ不都合のものあり市内觀水洞あたりには內地人にして無届にて使用するもの四五人ありそれも近來ならともかくも二年三年と續けて居るものあり中には届出ながら料金を支拂はずに使用しつヽある者もあり水道係にては嚴敷御取調を願ひたし（見兼生）▲先日京城見物に參り例の博物舘入口にて靴を脱ぎ一喝を喰ひ添しく拜觀中未だ閉舘時間に三十分も餘猶ありしに拘らず追ひ立てる樣に早や入口の『ドーア』が片側閉まりました故見殘しのまヽ匆々にして出舘致し歸りました（新來生）▲もし〳〵十一日の『誰』に金庫のソニスに撥創が附てゐたとありますが、はて、何でつけたものでしやう今日の少くとも手前共の金庫のソニスは中々爪や鍵の尖位で引搔いた迄容易な事では創はつきませんよ吾々金庫屋の眼でみれば何でも此創には因縁があることに眼をつけなければ阪探偵も名探偵ぢやない（京城金庫商）▲諸君『誰』のジプシイと云ふのは何だらう正面から言ば之は歐洲をうろつき廻る浮浪の一種だが十一日あつたのはそうぢやあるまい僕は誰か女の綽名と鑑定する諸君どうだ（博學者）▲過日當欄に於て鮮人便所掃除口の道路に面し且つ其蓋の無き事を記載ありしが外に最も不潔なる我等の餘り心附かざる一事あり彼等鮮人の中以下なる店舗は大概晝間の出張のもの多く其等の店舗には便所の設置なし隨て晝間の用便は彼等一流の便器を用ゆるを習慣とす併し彼等もさすが彼の圓平形の便器を用ゆる時は其所置に困難なるを以て其多くは鼠力の明鍾かたまには古洗面器に放尿し恰も不用の水を棄つるが如き狀をなし平氣に店頭より街路に撒布し第二の使用に充つ讀者は往々少量の水を彼等店頭より街路に向ひ撒布せしを見ん此れ決して尋常の水にあらず此れ等惡習慣を矯正するの法なきや注意を望む（賢見生）

山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

商況

大阪株式 [illegible]

仁川期米

▲續て下押す 大阪戰大損戰難に不勢の成行を示して敗色 天候依然照り續き [illegible] 寄付けて二十圓二十錢と下放れに寄付たるが [illegible]

▲㊦の大買物 [illegible]

寄付 後場 二十圓二十錢 [illegible]

十三日の九月限

賣買取組高 七月限 一千八百五十石 八月限 二萬六千石 九月限 [illegible]

春野球團の試合は十三日午後行はれ [illegible]

婦人藥 ニシタンポン

專賣特許 ニシタンポン

▲特効(25) 子宮內膜炎 頭管加答兒 子宮炎 膣炎 喇叭管炎 卵巢炎 子宮攣 子宮出血 月經不順 月經痛 神經衰弱 ヒステリー 不姙症不眠症 婦人病の豫防 月經時、姙娠中の膣內消毒

定價 [illegible]

本舖 東京市日本橋區 大正製藥株式會社

其他全國有名藥店にて販賣す

一 これは最も進歩した坐藥です、之れを膣內に入れますと、患部へ直接に届いて病氣を治してしまふ、其他のおりもの等の重い病氣でも、すぐ吸收して、ドシ〳〵効めがあらはれます。

子宮病に惱む御婦人達は今すぐ專賣特許婦人藥ニシタンポンをお用ひなさい！

宮內省御用酒 菊正宗 天下逸品の灘釀 販賣店到る處にあり

朝鮮發賣元 合名會社 本嘉納商店 釜山倉庫部 （電話三一一番 振替京城二一七三番）

謹告

原料騰貴の爲 花王石鹸 壹個ニ付 壹錢值上仕候

[illegible]

七月八日 花王石鹸本舗 東京馬喰町 長瀨商會

ヨクキク ホシ下痢止 定價 10.20.

▲急慢性下痢 ▲胃腸カタル ▲吐瀉、腹痛

東京府荏原郡 星製藥株式會社 各地有名藥店にあり

特約店 京城本町 キムラ藥房

淋疾內用 ブレノリン

本劑ハ [illegible] 消化合增 [illegible] 胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレ尿中ニ分泌シ尿量ヲ增加シ且殺菌作用偉大ナリ。

急性、慢性、淋疾及消渇、膀胱尿道加答兒ニ賞用ス [illegible] 博士 [illegible]

各地有名藥舖ニアリ 說明書進呈ス

東京京橋 三共株式會社

大阪商船仁川出帆

[illegible]

◎神戸、大阪行 安東丸 八月一日 △南部丸 七月十九日 △南部丸 七月廿一日 後二時出帆

◎南浦、神戸、大阪行 安東丸 七月十八日 後五時出帆

◎木浦、釜山、嚴原、門司、長崎行 ×安東丸 七月廿一日 ×安東丸 八月十八日 後二時出帆

◎濟州行 ×濟州丸 △福州丸 七月廿二日 後二時出帆

◎南浦行 南部丸 七月廿六日 濟州丸 七月十九日 後二時出帆

◎鎭南浦、大連行 ×安東丸 七月十四日 正午出帆 ×安東丸 七月廿六日 後二時出帆

◎大連直航 ×濟州丸 月 日 △福州丸 月 日 正午出帆

◎西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆） 須磨丸 七月廿二日 後十二時出帆

◎清津行（元山出帆） 宮島丸 七月廿七日 後十二時出帆

◎上海、芝罘、打狗行（大連出帆） 北丸 七月廿三日 前五時出帆 基隆丸 七月 日 後四時出帆

御注意 [illegible]

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番・五九八番

切符發賣所 內鮮運輸會社京城支店 電話七〇八番

切符發賣所 仁川京城通り 明豊旅館 電話二六一二番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行

○君が代丸 七月十四日後四時出帆

○大有丸 七月廿三日後四時出帆

○秀吉丸 七月 日後四時出帆

○神代丸 七月 日後四時出帆

仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 電話五十九番

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番・二三三番

鐵道院局及社外船と荷客連絡運送の便あり詳細は京城南大門驛前京城荷客取扱店 松原運送店 電話一七〇番

◎關門より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず） ×京畿丸 七月廿四日 ×忠清丸 七月十四日 成鏡丸 七月十九日 柳川丸 七月廿九日 釜山發

◎元山より各地經由雄基行 穩城丸 七月二十日 鏡城丸 七月十五日 三浦丸 七月十八日 元山發

◎浦鹽行（元山より城津清津經由） 平壤丸 七月十四日 元山發

◎元山長箭間 成鏡丸 七月廿三日 穩城丸 七月十九日 柳川丸 七月三十日 元山發

◎釜山元山間 金海丸 七月廿二日 七月廿六日 釜山發 元山發

◎鬱陵島行浦項及各地經由 喜德丸 七月十五日 釜山發

◎浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由） 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發

◎濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 七月十九日 釜山發

◎麗水行（各地經由） 濟州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

◎木浦麗水間（麗水にて釜山行接續） 順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發

◎木浦より濟州島行各島經由 西廻、公州丸 七月十五日 東廻、金海丸 七月十七日 木浦發

◎多島海各島行 慶興丸 七月廿二日 木浦發

◎木浦行（群山其他各地經由） 晋州丸 七月十八日 麗水丸 七月十三日 仁川發

◎鎭南浦行（海州其他各地經由） 宗信丸 七月二十日 仁川發

◎海州行（江華島喬桐島經由） 全州丸 錦江丸 毎日 但し三十一日は休航 仁川發